

経済学部

2021年度 シラバス (講義要綱)



四日市大学

全学共通科目

授業科目名	単位数	①前	①後	②前	②後	③前	③後	④前	④後	講師区分	担当教員
基礎中国語Ⅰ	2			○						総	加納 光
										環	吉山青翔
基礎中国語Ⅱ	2				○					総	加納 光
										環	吉山青翔
情報科学	2	○								環	千葉 賢
情報と職業	2	○								環	井岡幹博
アプリケーション演習b	2				○					環	池田幹男
	2				○					総	本部賢一
地域社会の歴史	2		○							非	岡 佑哉
四日市学	2	○								総	岡 良浩
										総	鬼頭浩文
										総	永井 博
											李 修二
政治学	2	○							総	小林慶太郎	
社会学	2	○							総	三田 泰雅	
メディアの150年史	2	○							環	木村眞知子	
メディアリテラシー	2	○								環	関根辰夫
										環	前川督雄
										非	山本 伸
社会福祉論	2	○								李 修二	
人権論	2		○						総	松井真理子	
ジェンダー論	2		○							総	高田晴美
										総	三田 泰雅
法学	2	○							総	中西紀夫	
民法入門	2	○							非	小林 聖仁	
倫理学	2		○						総	フェリペ フェハーリ	
芸術学	2		○							総	鬼頭浩文
										環	関根辰夫
										環	前川督雄
文学	2	○							総	永井 博	
文化論b	2		○						環	前川督雄	
歴史学	2	○							非	岡 佑哉	
自然科学概論	2		○						環	田中伊知郎	
数学概論	2	○							非	吉見 勝治	
線型代数	2	○							非	金岩 稔	
統計学	2		○						環	井岡幹博	
化学1	2	○							環	牧田直子	
生物学	2	○							環	田中伊知郎	
環境論	2		○						環	吉山青翔	
科学的思考論	2		○						環	吉山青翔	
ボランティア活動a	2	○							総	松井真理子	
ボランティア活動b	2	○							総	松井真理子	

経済学部専門科目

現	国	営	授業科目名	単 位 数	① 前	① 後	② 前	② 後	③ 前	③ 後	④ 前	④ 後	講 師 区 分	担 当 教 員
C	A	C	フィールドワーク論	2	○								総	富田 与
A	C	C	日本経済事情	2				○					総	杉谷克芳
C	A	B	アントレプレナーシップ論	2			○						総	岡 良浩
C	C	A	会計学総論	2				○					総	奥原 貴士
C	A	C	国際経済事情	2						○			総	鶴田利恵
B	B	C	ミクロ経済学	2				○					総	鬼頭浩文
B	B	D	現代財政学	2			○						総	鶴田利恵
B	C	C	経済統計学	2			○						環	田中伊知郎
B	B	C	経済政策	2				○					総	鬼頭浩文
B	C	D	環境経済学	2					○				総	岡 良浩
B	C	D	環境経済学	2						○			総	鬼頭浩文
B	C	D	コンピュータプログラミング基礎	2						○			環	片山清和
B	D	C	データ解析基礎	2						○			環	田中伊知郎
B	D	C	データ解析応用	2						○			非	吉見 勝治
C	B	D	国際関係論	2					○				総	富田 与
D	B	D	国際協力論	2						○			総	富田 与
C	B	D	地域経済論	2					○				総	岡 良浩
D	C	D	地域開発論	2						○			総	岡 良浩
D	B	D	地域企業セミナー	2			○						総	岡 良浩
B	C	D	社会保障論	2				○						李 修二
B	C	D	社会福祉学	2			○						非	柴田啓文
D	D	B	財務諸表論1	2			○						総	奥原 貴士
C	C	B	経営戦略論	2				○					非	西浦 尚夫
D	C	B	経営組織論	2					○				総	岡 良浩
D	B	D	日本ビジネス論	2					○				総	岡 良浩
D	B	D	日本ビジネス論	2									総	杉谷克芳
D	B	D	日本ビジネス論	2									総	永井 博
D	C	B	中小企業経営論	2						○			総	岡 良浩
C	D	B	生産管理論	2						○			非	楓 森博
C	B	B	マーケティング論	2			○						非	西浦 尚夫
D	B	C	マーケティングセミナー	2				○					総	岩崎祐子
D	B	C	マーケティングセミナー	2									総	岡 良浩
D	B	C	マーケティングセミナー	2									非	西浦 尚夫
D	B	D	エマージングマーケット論	2					○				総	鶴田利恵
D	D	B	経営分析論	2			○						総	岩崎祐子
D	D	B	経営分析論	2			○						総	奥原 貴士
D	B	C	ビジネスコミュニケーション	2				○					総	岡 良浩
D	B	C	グローバルコミュニケーション	2				○					総	富田 与
B	C	B	流通経済論	2			○						総	杉谷克芳
C	B	C	ビジネス英語	2						○			非	デイビッド ダイクス
C	C	C	経済経営外国書講読	2					○				環	武藤 和成
C	C	C	英語スキルズ	2							○		非	デイビッド ダイクス
C	C	C	経済経営特殊講義a	2					○				総	岩崎祐子
C	C	C	経済経営特殊講義a	2									総	岡 良浩

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 基礎中国語 I	講師名： 加納 光		
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「語学科目」では英語を中心とした外国語を、幅広く学び、学部ごと に設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
この授業では、「音声」「語彙」「文法」「表現」の各分野における基礎学習を通し、中国語の基礎的な運用能力を養成します。学期の前半は、主に「音声面」に重点を置き、声調（高低アクセント） と 400 余りの音節を正しく発音できるようにします。それを踏まえ、学期の後半から中国語の初級レベルの「語彙」「文法」「表現」を学習します。言語事情のほか、中国の社会や文化に関する解説も行い、中国および 中国語に対する理解を深めることが、この授業のねらいです。なお、中国語母語話者の受講はできません。			
到達目標			
この授業では、言語活動の中心をなす「話す」「聴く」「読む」の三要素の反復練習に多くの時間を費やしなが、中国語の基礎をしっかりと身につ けていきます。簡単な日常会話を話すことのできる初級レベルの語学力の習得を、この授業の到達目標とします。			
授業計画			
第 1 講 ガイダンス、授業の概要、中国語概要 1 第 2 講 中国語概要 2、中国概況 1 第 3 講 声調（4）と単母音（7）の発音、概況 2 第 4 講 複合母音（13）の発音、概況 3 第 5 講 鼻母音（16）の発音、概況 4 第 6 講 子音（21）の発音、概況 5 第 7 講 発音、表記上の規則、概況 6 第 8 講 発音のまとめ、小テスト、概況 7 第 9 講 どうぞよろしく（point 1～4）、概況 8 第 10 講 お名前は（point 1～4）、概況 9 第 11 講 ご出身は（point 1～4）、概況 10 第 12 講 飲み物は（point 1～4）、概況 11 第 13 講 おいくつ（point 1～4）、概況 12 第 14 講 和食はいかが（point 1～4）、概況 13 第 15 講 復習、概況 14 定期試験 注 授業内容、進捗については、状況に応じて変更することもあります。毎回の発音・表現練習 には積極的にチャレンジしてください。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
①定期試験 60% ②小テスト 20% ③課題、宿題（評価した後返却します） 20%により総合的に評価します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
1）教材：相原茂他『日中いぶこみ交差点（エッセンシャル版）』（朝日出版 社）2, 400 円＋税 2）参考書：『WHY? に答えるはじめての中国語の文法書』（相原茂） 3）辞書：『簡約現代中国語辞典』（光生館）			
事前・事後学習			
毎回与えられる復習（90 分）、予習（90 分）のための課題や宿題を欠かさずに行い、中国語の基礎を着実に固めていってください。			
担当者から一言			
初めて学ぶ外国語です。旺盛な知的好奇心を持って授業に臨んでください。予習。復習を欠かさないようにしてください。遅刻、授業中の私語、中座、居眠りなどは、原則禁止します。			

授業コード 911203 科目コード 121113

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 基礎中国語 I		講師名： 吉山青翔	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「語学科目」では英語を中心とした外国語を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
本講義は中国語をゼロから始める中国語初心者に向け、国連など国際会議で公用語と指定されている中国語の標準語（＝普通話）の基本発音・基本文法・基本語彙・基本文型と、中国語日常会話の基本的なスキル、及び中国文化との一体的な中国語学習を目指します。			
到達目標			
中国語の門に入り、より中国語を学ぶための基礎を据えることができるでしょうし、そして、国際感覚の養成にも役に立つでしょう。			
授業計画			
第1講 ガイダンス、中国語と日本語の相違点 第2講 中国語発音1、あいさつの表現1 第3講 復習と小テスト、中国語発音2、あいさつの表現2 第4講 復習と小テスト、中国語発音復習、中国語による唐詩鑑賞 第5講 中国語人称代名詞、語順、「Yes/No式疑問文」、「是」の用法 第6講 復習と小テスト、会話「我是日本人」（私は日本人です） 第7講 中国語の「Wh式疑問文1」、「什?」、名前の名乗りかたと尋ねかた 第8講 復習と小テスト、会話「我姓小林」（小林と申します） 第9講 中国語の指示代名詞、動詞述語文、「的・都・也」の用法 第10講 復習と小テスト、会話「??也是老?」（母親も教師です） 第11講 中国語の「Wh式疑問文2」「動詞否定表現」、「打算」「想」「喜?」の用法 第12講 復習と小テスト、会話「?想不想吃蛋?」（ケーキを食べたくありませんか） 第13講 中国語の数詞量詞表現、年齢の言い方、「有」の用法 第14講 復習と小テスト、会話「我今年十九?, 有一个弟弟」 第15講 総括			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
平常授業中に行われる書き取りテスト（40点）（採点後返却し、フィードバックします。）・会話練習などの出来具合と期末定期試験（60点）の出来具合により総合評価。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキスト： 相原茂他『日中いぶこみ交差点』（朝日出版社、2019年） 参考文献 王青翔（＝吉山青翔）・栄隈真人司共著『徹底復習式 きょう忘れてもあした覚える 実用中国語』（東洋書店、2013年）			
事前・事後学習			
授業前に90分ほどをかけて予習しておき、授業後にも90分ほどをかけて復習してください。そうしなければ、授業についていけません。			
担当者から一言			
本講義では、平常授業中、ほぼ毎回書き取りテストを行い、会話暗記などの課題を課しますので、よく考えた上で、受講登録してください。必ずテキストを用意してください。			

授業コード 911402 科目コード 121113

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 基礎中国語Ⅱ		講師名： 加納 光	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「語学科目」では英語を中心とした外国語を、幅広く学び、学部ごと に設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
この授業は中国語Ⅰを継続するものです。中国語Ⅰと同様、「書く」「聞く」「話す」の反復練習を通して、中国語の基礎学力の習得 を目指します。また、引き続き、中国語初級文法の学習を進め、中国語の基礎固めをしていきます。 コミュニケーション能力の向上を目指し、初級語彙および初級文法を 取り入れた会話練習に多く時間を割く予定です。中国語に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力に磨きをかけることを、こ の授業のねらいとします。なお、中国語母語話者の受講はできません。			
到達目標			
中国語の初級レベルの内容を理解し、それを書いたり、話したりするこ とができるようになることが、この授業の達成目標です。			
授業計画			
「中国語Ⅰ」からの継続 第1講：ガイダンス、授業の概要、家庭訪問（1） 第2講：家庭訪問（2）、買い物（1） 第3講：買い物（2）、道案内（1） 第4講：道案内（2）、中秋節（1） 第5講：中秋節（2）、食事の前は（1） 第6講：食事の前は（2）、第1～5講の復習（1） 第7講：第1～5講の復習（2） 第8講：手作り料理（1） 第9講：手作り料理（2）、カニの季節（1） 第10講：カニの季節（2）、スキー場で（1） 第11講：スキー場で（2）、おみやげ（1） 第12講：おみやげ（2）、空港まで（1） 第13講：空港まで（2）、第6～12講の復習（1） 第14講：第6～12の復習（2） 第15講：総復習とまとめ 定期試験 注 授業内容、進度はクラスの状況に応じて、変更する場合があります。 毎回実施する、発音、会話練習には積極的にチャレンジしてください。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
学期末試験 60%、小テスト 20%、課題、宿題（採点后返却します） 20% をもとにして、総合的に評価します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
1）教材：『日中いぶこみ交差点 エッセンス版』（朝日出版社）、相原 茂 他 2）副教材：『中国語の文法書』（同学社） 3）辞書：『中国語辞典』（光生館） 4）参考書：『中国語はじめの一步』（ちくま新書）			
事前・事後学習			
授業の予習、復習、課題、宿題は必ず行ってください（予習 90 分+復習 90 分）。 加えて日頃から、中国語を聴いたり、話したりするように心がけてください（毎日 30 分以上）。			
担当者から一言			
予習、復習を欠かさないようにして積極的に講義に臨んでください。常に旺盛な勉学意欲を忘れずに、中国、中国語に対する興味、関心を持ち続けていってください。なお、授業中の私語、中座は原則禁止します。			

授業コード 911601 科目コード 121114

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 基礎中国語Ⅱ		講師名： 吉山青翔	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「語学科目」では英語を中心とした外国語を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
本講義は中国語の入門編ではなく、すでに中国語の入門程度の知識を修得した学習者に向け、前学期で開講した「中国語Ⅰ」に続き、基礎中国語の学習を展開します。			
到達目標			
前学期の「中国語Ⅰ」と合わせて履修すれば、中国語をより学ぶための文法的な基礎と中国語会話の基本的なスキルを身につけることができるでしょう。			
授業計画			
第1講 ガイダンス、中国語Ⅰの復習 第2講 中国語の選択疑問文、形容詞述語文、動詞過去経験表現、「?是」の用法 第3講 復習と小テスト、会話「?吃?日本料理?」 第4講 中国語述語文、比較の表現、助動詞「要」の用法、前置詞「跟」の用法 第5講 復習と小テスト、会話「?比照片漂亮」 第6講 中国語助動詞「可以」、動詞の重ね型、方向補語、連動文、お金の言い方 第7講 復習と小テスト、会話「?个多少?」 第8講 中国語の動作の完了実現表現「了」、前置詞「从」「得」「在」の用法 第9講 復習と小テスト、会話「去北京站怎?走」 第10講 中国語年月日曜日の言い方、状態変化と新事態発生の表現 第11講 復習と小テスト、会話「今天几月几号」 第12講 中国語辞書の使い方 第13講 中国語総合チャレンジ「閲覧と翻訳」1 ユーモア：「助听器」「二十年后的我」 第14講 中国語総合チャレンジ「閲覧と翻訳」2 漫画：「考?」「外面吃」 第15講 総復習			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
平常授業中に行われる書き取りテスト（40）（採点後返却し、フィードバックします。）・会話練習などの出来具合と期末定期試験（60点）の出来具合により総合評価。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキスト 相原茂他『日中いぶこみ交差点』（エッセンシャル版）（朝日出版社、2019年） 参考資料 王青翔（=吉山青翔）・栄隈真人司共著『徹底復習式 きょう忘れてもあした覚える 実用中国語』（東洋書店、2013年）			
事前・事後学習			
授業前に90分ほどをかけて予習しておき、授業後にも90分ほどをかけて復習してください。そうしなければ、授業についていけません。			
担当者から一言			
本講義では平常授業中にほぼ毎回書き取りテストを行い、会話など暗記課題を課しますので、よく考えた上で、受講登録してください。必ずテキストを用意してください。			

授業コード 911802 科目コード 121114

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 情報科学		講師名： 千葉 賢	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「情報科目」では情報社会に必須の知識を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修(教養)を積み上げていきます。			
授業のねらい			
コンピュータの歴史は浅く、電子計算機が開発されたのは約 70 年前、最初のパソコンが発売されたのは約 45 年前である。それ以降の情報技術の発展は驚異的で、現在はパソコンやスマホを通じて自分から世界に情報を発信できる世の中となった。さらに最近では、AI 技術の普及も目覚ましく、情報技術が人間社会の在り方や運命を変えようとしている。本講義では、現代社会で必要とされるコンピュータに関する知識を概説する。予備知識は必要ない。本大学で行われる情報系授業の基礎となる内容を教えるので、できるだけ早期に受講することを薦める。			
到達目標			
①デジタルの特質を知る、②コンピュータの内部構造の概要を知る、③コンピュータの動作原理の概念を知る、④コンピュータの歴史を知る、⑤情報分野の用語や単位を知る、⑥情報分野の資格取得に備えた知識を得る。			
授業計画			
第 1 講 ガイダンス、情報と情報量 第 2 講 情報と情報量 第 3 講 デジタルとアナログ① 第 4 講 デジタルとアナログ② 第 5 講 コンピュータの歴史① 第 6 講 コンピュータの歴史② 第 7 講 コンピュータの内部装置① 第 8 講 コンピュータの内部装置② 第 9 講 コンピュータ内部の数値の表現方法① 第 10 講 コンピュータ内部の数値の表現方法② 第 11 講 コンピュータ内部の文字の表現方法③ 第 12 講 コンピュータ内部の文字の表現方法④ 第 13 講 コンピュータと CPU の動作原理① 第 14 講 コンピュータと CPU の動作原理② 第 15 講 論理回路 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
講義毎のレポート (40%) と期末試験 (60%)。毎週小レポートを課すので少し大変だが、その積み重ねで知識がつく。期末試験もレポートに出題した内容から出題する。レポートに予習復習で得た知識を書くと良い。積極的にレポートに取り組んだ者は加点する。レポートは採点して返却する。			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
使用しない。資料を配布する。			
事前・事後学習			
全く新しい話題の準備学習は難しいので、連続する話題 (例えば「情報と情報量」) の 1 回目を聴講したら、それを復習 (90 分) するとともに、ネット等で関連知識を得る (90 分) ようにすると良い。そのような準備学習をすることで、理解度は格段に高まる。			
担当者から一言			
ケイタイもスマホもコンピュータです。情報社会の一員として生きてゆく皆さんにとって、コンピュータの使い方を覚えるだけで十分でしょうか。コンピュータという機械に「使われない」ためには、そのしくみを知り、使いこなすことが大切です。			

授業コード 914301 科目コード 121203

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 情報と職業		講師名： 井岡幹博	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「情報科目」では情報社会に必須の知識を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
本講義では、事例を通して情報システムと社会とのかかわり方を学び、情報システム関連の職業に関する職業観を持つことを目的とします。そのために、コンピュータやネットワークが社会インフラやビジネスの場面で、どのように活用されているかを学びます。情報システムの発達により、社会の仕組みや仕事の仕方が変わる中で、人間社会とコンピュータ、ネットワークとの望ましい関係も考えていきたいと思いをします。			
到達目標			
IT パスポート試験のストラテジ系およびマネジメント系の問題を解けるレベルを目指す。			
授業計画			
第1講：ガイダンス、iPhone のビジネスモデル 第2講：情報のデジタル化 第3講：インターネット 第4講：インターネットビジネス アマゾン 第5講：インターネットビジネス アマゾンと楽天のビジネスモデルの違い 第6講：デジタル社会と製造 SCM① 第7講：デジタル社会と製造 SCM② 第8講：知的財産権とビジネス 産業財産権 第9講：知的財産権とビジネス 著作権 第10講：情報セキュリティ① 第11講：情報セキュリティ② 第12講：自動識別技術 第13講：Google のビジネスモデル 第14講：GAFA と個人情報保護 第15講：まとめ 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
レポート 50%、定期試験 50% レポート課題に問題があればフィードバックします。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
プリント配布			
事前・事後学習			
情報技術およびその利用に関する新聞記事の熟読（予習 90 分）。各回で課されるレポート課題を作成すること（復習 90 分）。			
担当者から一言			
急速に進む情報化は、ビジネス環境はもちろん、私たちの生活自体も大きく変え、大きな影響を与えています。ニュース番組などで具体的な例を見ながら、情報システム進化の方向やその影響を一緒に考えましょう。			

授業コード 911201 科目コード 121204

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 地域社会の歴史	講師名： 岡 佑哉		
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「地域科目」では、地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材をめざします。			
授業のねらい			
本講義は、地域における歴史の展開を知ること、歴史が政治の中心地のみでは語りきれないものであると理解することを目的とする。歴史は単なる「暗記科目」ではなく、事実に基づき思考する学問である。 本講義を通して、地域社会の視点から日本全体の問題を考察するという姿勢を養う。題材として、2016年のサミット開催地三重県の「伊勢神宮」の近現代史をとり上げる。			
到達目標			
①地域社会の歴史に対する知識を身につける。②知識を活用し文章で説明する力を身につける。③地域社会から日本全体の問題を考える姿勢を身につける。			
授業計画			
第1回 ガイダンスー地域社会史の意義ー 第2回 前近代の伊勢神宮①ー古代～中世ー 第3回 前近代の伊勢神宮②ー近世ー 第4回 近代の伊勢神宮を知ることの意味 第5回 明治維新と伊勢神宮 第6回 明治期における宇治山田の変容 第7回 明治期における「神都」としての伊勢の形成 第8回 1929年の式年遷宮ー国家儀礼としてー 第9回 戦前のメディア・教育の中の伊勢神宮 第10回 戦前の伊勢神宮参拝の諸相 第11回 終戦の危機と1953年の式年遷宮 第12回 「脱法人化」と1973年の式年遷宮 第13回 1993年の式年遷宮ー聖地と俗地としての伊勢ー 第14回 伊勢神宮の現在 第15回 講義の総括 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
①筆記試験(70%)、②平常点(30%)。出席が前提で、毎回講義の終わりに内容についての感想・質問を書いたペーパーを提出。その取り組みを評価する。 次の回の講義で、質問への回答や事実関係の確認を行うことで、学生の理解の向上につなげる。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
テキストはなし。毎回プリントを配布する。 参考文献：ジョン・グリーン『神都物語 伊勢神宮の近現代史』(吉川弘文館、2015)			
事前・事後学習			
本講義は特に復習に力を入れてほしい。講義のプリントを熟読しつつ、板書内容を整理し次回の講義に備える。大学生として新聞を読むこと。また、伊勢神宮や天皇家に関わる記事がないかも注意するとよい。(90分)			
担当者から一言			
・遅刻・私語・他ごと厳禁。遅刻者にプリント・出席カードは配布しない。 ・バイトなどと称した無断早退、無断退出厳禁。 ・コメントペーパー代筆厳禁。 ・コロナ感染状況の悪化の場合 オンデマンド型に変更。講義内容を文章化した資料を配布する。試験はレポートに(剽窃=他人の文章を盗むこと、は失格)。			

授業コード 915701 科目コード 121301

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 四日市学		講師名： 鬼頭浩文	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「地域科目」では、地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材をめざします。			
授業のねらい			
この講義は、四日市市を対象として、地域の社会、歴史、文化、自然、産業、環境などの現状を学び、この地域の将来の発展方向を考えることをねらいとしています。四日市を深く知ることを通し、地域社会の抱える課題を見つけ、それを市民・企業・行政などがどのように解決するのか、学んでいきます。また、四日市の伝統・文化・芸術について触れ、多面的に四日市について考える機会とします。			
到達目標			
講義は8回にわたる様々なテーマの座学、2つのフィールドワークによって構成されます。この講義の到達目標は、この地域の様子や現在の課題を積極的に学んでいくという興味や意欲を持てるようになることです。			
授業計画			
第1講(4/9) ガイダンス+フィールドワークの説明(鬼頭) 第2講(4/16) 「地域と宗教的文化・伝統」(李;ゲスト講師 北島義信) 第3講(4/23) 「四日市公害に向き合う」(鬼頭;ゲスト講師 四日市公害と環境未来館職員) 第4講(5/7) 「四日市の産業」(岡) 第5講(5/14) 「ふるさと・四日市の文学者たち」(永井) 第6講(5/21) 「四日市の抱える今日の問題～人権問題～」(李) 第7講(5/28) 「四日市の歴史」(永井;ゲスト講師 四日市市博物館学芸員) 第8講(6/4) 「四日市市の発信～シティプロモーション戦略～」 (鬼頭;ゲスト講師 四日市市観光・シティプロモーション課職員) ■第9～11講 フィールドワーク①「四日市市博物館で学ぶ」 ■第12～14講 フィールドワーク②「四日市で学ぶ」 *感染拡大の状況によっては、オンデマンドでのバーチャル・フィールドワークになります。 15週目(7/23) 振り返りとフィールドワーク課題の提出(鬼頭)			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
成績評価は、1～8週目に課す簡単なアクションペーパー各200字程度(40%)、2回のフィールドワークに関するレポート(30%)、学期末試験(30%)で総合評価します。提出物は返却しませんが、内容について取りまとめ、最終の振り返りでフィードバックします。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
とくに設定しない。必要に応じて資料を配布する。			
事前・事後学習			
次回講義の内容をシラバスの計画で確認し、WEBで関連する情報をみる準備学習を約1時間すること。また、講義で配布された資料などを使った振り返り学習も約1時間する。また、フィールドワークに2日間、その課題作成に6時間ほどを要する。			
担当者から一言			
四日市を深く知ることのできる貴重な科目です。しっかりと「四日市」を学んでほしい。			

授業コード 915201 科目コード 121302

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 政治学		講師名： 小林慶太郎	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の3分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。</p>			
授業のねらい			
<p>この授業では主に、政策の決定や政府の役割など、政治の仕組みについて、扱っていきます。 例えば選挙。いったいどのような仕組みで行われているのでしょうか。そして選挙というものは、本当に民主的な仕組みなのでしょうか。そもそも選挙はなぜ必要なのでしょうか。そして政府は、どのような役割を担っているのでしょうか。 できるだけ、その時々の政治ニュースの解説なども行っていくことで、学生諸君に、日本の政治や社会の仕組みに対する関心を高めてもらうことを、この講義のねらいとしています。</p>			
到達目標			
<p>この授業では、学生諸君が、日本の政治や社会に関する基本的な用語や知識を身につけ、テレビや新聞の政治ニュースをある程度理解できるようになることを、到達目標としています。</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス 政治と政治学 第2講 政治と政策 第3講 政策の決定と民主主義（グループワーク） 第4講 選挙とマニフェスト 第5講 圧力団体と政治的景気循環 第6講 さまざまな選挙制度① 小選挙区制 第7講 さまざまな選挙制度② 大選挙区制 第8講 さまざまな選挙制度③ 比例代表制 第9講 選挙制度改革の動き 第10講 多数決と話し合い（ディベート） 第11講 もしも政府が無かったら（グループワーク） 第12講 市民革命と夜警国家 第13講 市場の失敗と福祉国家 第14講 政府の失敗と行政改革 第15講 政治的対立を超えて 定期試験 ※ 新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、変更になる場合があります。</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>成績は次のような配分により評価します。 ・講義時に指示する簡単な課題の提出状況および受講態度：30% ・定期試験（自筆ノートのみ持込可）：70% なお、講義時に提出した課題に書かれていたコメントに対しては、以降の講義で応答していきます。</p>			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
<p>なし（必要に応じてプリントを配布する場合があります） 【参考文献】 浅羽通明「新書で大学の教養科目をモノにする政治学」光文社新書（2011年） 北山俊哉、久米郁男、真淵勝「はじめて出会う政治学〔第3版〕」有斐閣アルマ（2009年）</p>			
事前・事後学習			
<p>日頃からテレビや新聞の政治ニュースに目を通すこと（毎日20分以上）。講義内容のノートを見返して、不明な点などは参考文献等で調べておくこと（40分）。</p>			
担当者から一言			
<p>遅刻や、講義中の中座、飲食、私語、携帯電話の鳴動などは、原則禁止します。これらのことが守れない者には、退室を命ずることがあります。出席する以上は、真剣な態度で受講して下さい。また、講義中に指名されたら、元気に返事をするようにして下さい。</p>			

授業コード 912201 科目コード 121306

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 社会学		講師名： 三田 泰雅	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の3分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
この授業では社会学の基礎的な考え方を学びます。社会は人間が集まって作られますが、一方で人間は社会によって作られる側面もあります。私たちはどのように社会をつくっているのか、そして、私たちはいかにして社会に縛られているのか。こうした疑問を考えてゆく授業です。			
到達目標			
社会学的なものの見方や考え方を身につける			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 規範と価値 第3講 私（わたし）とは何か 第4講 近代化とスポーツ 第5講 つながりとしての家族 第6講 社会の中のジェンダー 第7講 社会階層と格差 第8講 社会における学校と教育 第9講 国家とナショナリズム 第10講 都市の社会生活 第11講 村落の社会構造 第12講 少子高齢社会の背景 第13講 個人化のゆくえ 第14講 社会とリスク 第15講 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
＜評価＞小レポート 30%， 中間試験 15%， 期末試験 55% ＜課題＞毎回の授業で小レポートを提出してもらいます。 ＜フィードバック＞小レポートは翌週の授業で適宜コメントします。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
＜参考文献＞ 倉沢進・秋元律郎・岩永雅也， 2001， 『新訂 社会学入門』放送大学出版協会。 石黒格編， 2018， 『変わりゆく日本人のネットワーク』勁草書房。			
事前・事後学習			
新聞やニュースに目を通す（毎日 20 分）			
担当者から一言			
学生諸君の積極的な参加を期待します。			

授業コード 911301 科目コード 121308

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： メディアの150年史	講師名： 木村 眞知子		
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
多様な社会の価値観を理解し、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる			
授業のねらい			
古くから私たちの暮らしはメディアと深く結びついています。メディアの変化が我々人類の政治や経済、社会、文化の変容にどうかかわってきたかを学び、これからのメディアと私たちの未来を展望します。また、これまでメディアが、何を、どのように語り、描いてきたかを振り返り、メディアの役割を考察するものとします。授業内容をより理解するために、ミニレポートや課題レポートを課します。			
到達目標			
メディアと人類の歴史を概観することでメディアが歴史に及ぼしてきた影響を知り、変化し続けるメディア環境を生きる私たちと今の社会を理解していきます。			
授業計画			
第1講 講義ガイダンス—メディアの歴史を読み解く意味 第2講 メディア事始め—人類が生き抜くために 第3講 文字の登場—歴史の始まり 第4講 メディアの変化と歴史1印刷革命 宗教改革へ 第5講 メディアの変化と歴史2動く映像の登場 第6講 メディアの変化と歴史3電信・ラジオ ヒットラー&ルーズベルト 第7講 メディアの変化と歴史4ラジオ 玉音放送 第8講 メディアの変化と歴史5テレビ ケネディ vs ニクソン〜ベトナム戦争 第9講 メディアが描いたもの①高度経済成長と「豊かさ」 第10講 メディアの変化と歴史6テレビ新時代 ベルリンの壁崩壊 第11講 メディアが描いたもの②広告と暮らし 第12講 メディアの変化と歴史6 SNS アラブの春 第13講 メディアが描いたもの③災害とメディア—同時性とアーカイブ 第14講 変わりゆくメディア、変わりゆく世界 第15講 まとめ—課題試験に向けて 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
成績評価は次の通りとします。 ミニレポート・課題レポート：50% 定期試験：50% 課題レポートについては、以降の講義で取り上げ応答していきます。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
なし。テキストとなるプリントおよび資料を配付します。			
事前・事後学習			
課題レポート等のためのリサーチ・分析も事前学習と認めます。その準備として「メディア」をより理解するために、毎日30分程度、ネットやテレビ、ラジオ、新聞、雑誌などで、今、どのような情報が発信されているかを調べ、分析すること。講義後には毎回30分程度、ノートやプリント等を確認し内容を振り返り理解を深めること。不明な点は次回の講義で質問できるように準備をすること。			
担当者から一言			
歴史を学ぶことは単に史実を知ることだけでなく、歴史から今の私たちへのメッセージを受け取ることです。メディアの歴史からのメッセージを読み取り、今の私たちを、時代を深く理解したいと思っています。			

授業コード 913401 科目コード 121309

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： メディアリテラシー		講師名： 前川督雄	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の7分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
メディアリテラシーとは社会に溢れる様々なメディアを読み解き、それぞれのメディアを介して伝えられる情報の背景や意味を評価できる能力です。この説明だけでは、諸君は理解出来ないかもしれません。何故ならメディアがあまりにも溢れすぎている環境で育ってきたからです。 そこで3名（関根、山本、前川）の教員で構成するこの授業では、まずは「メディアの楽しみ方」を伝授したいと思います。メディアに対する接し方をちょっと変えるだけで、新鮮な発見と感動を体験できるようになるでしょう。			
到達目標			
各自のメディア環境下で、無意識に当たり前と思っている事柄に対して、なんらかの観察意識や他のコンテンツやテーマと比較する意識を持てるようになってもらうことです。			
授業計画			
第1講 ガイダンス/各講義内容の説明 第2講 メディアとは（前川） 第3講 デジタルネイティブ ～幼少時からバーチャル世界に慣れ親しむ世代～（前川） 第4講 メディアと音の関わり（関根） 第5講 日本における音楽メディアと音楽業界の変遷（関根） 第6講 ラジオスターの悲劇 ～なぜラジオは衰退したのか～（山本） 第7講 ラジオスターの歓び ～ラジオの魅力を考える～（山本） 第8講 特別講義（外部講師等） 第9講 メディアエコロジー～情報環境が心身に及ぼす良い影響と悪い影響～（前川） 第10講 インターネットとマスメディア ～マスメディアの責務～（前川） 第11講 CDというメディアに潜んでいる常識と真実のギャップ（関根） 第12講 K-POPに見る韓国「人」と「文化」（関根） 第13講 ラジオスターの憂い ～ラジオの現在～（山本） 第14講 ラジオスターの未来～ラジオの未来はどうなる？～（山本） 第15講 まとめ （内容・順序を変更することがあります）			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
定期試験を行いません。 講義時に何回か小レポートなどを教室で書いてもらいます。それらの評価の平均点で総合評価します。 小レポートで示された重要な論点をその後の講義で採り上げます。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキストはありません。 講義中に、適宜、各先生方が資料を配布するかもしれません。			
事前・事後学習			
各自の1日の中で、スマホでネットを見たり新聞やテレビを視聴する時間がどれくらいあるかなど、メディアと接する行動を事前に把握しておいてください（90分）。毎回の講義の後での自分のメディア行動を振り返り、考えを深めてください（90分）。			
担当者から一言			
環境情報学部メディア情報分野を専攻する学生は、この科目を受講することが望ましい。			

授業コード 912202 科目コード 121310

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 社会福祉論		講師名： 李 修二	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の8分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
社会福祉とは、現代社会を生きる人々にとって無くてはならない事柄の一つと言えます。そうした社会福祉の理念や考え方を学び、さらに社会福祉の歴史、対象、制度について基本的な理解を得ることをねらいとした授業となります。授業の後半では、より具体的に、社会福祉の主要な分野での現状と今後の課題についても掘り下げて学ぶことをねらいとします。			
到達目標			
社会福祉の理念や歴史などの学習を通じて、社会福祉についての正しく専門的な基礎知識を理解することを目標とします。			
授業計画			
1. ガイダンス、社会福祉の理念 2. 社会福祉の歴史 イギリス(1) 3. 社会福祉の歴史 イギリス(2) 4. 社会福祉の歴史 イギリス(3) 5. 社会福祉の歴史 アメリカ、ドイツ、スウェーデン、日本 6. 少子化・高齢化をめぐる日本と世界(1) 7. 少子化・高齢化をめぐる日本と世界(2) 8. 日本の社会保障をめぐる現状と国際比較(1) 9. 日本の社会保障をめぐる現状と国際比較(2) 10. 資本主義経済の歴史的变化と福祉国家 11. これからの社会保障(1) 12. これからの社会保障(2) 13. 医療への新たな視点(1) 15. 医療への新たな視点(2) 15. 持続可能な福祉社会に向けて			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
毎授業ごとのミニツッペーパーで50%評価し、講義ノートを試験範囲とする学期末の試験で50%評価します。 (ミニツッペーパー評価基準はガイダンス時に説明します。授業ごとの提出ミニツッペーパーや質問等には、MOODLEを通じて、評価結果や応答をフィードバックします。)			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
書き込み式の講義ノートを毎回プリントにして配布します。他にテキストは使用しません。 参考文献： 武川正吾『福祉社会 (新版)』2011年、有斐閣 広井良典『人口減少社会のデザイン』2019年、東洋経済			
事前・事後学習			
毎回の授業後、ミニツッペーパー (小レポート) を書いてもらい、次の授業回に提出してもらいます。また、必ず前回の講義ノートを復習して授業にのぞんでください。(復習・予習、計60分以上) さらに、毎週、参考文献、あるいは、新聞やウェブなどでの社会福祉関係の記事など、授業内容に関連した資料から学習してください。(30分以上)			
担当者から一言			
社会福祉の考え方や知識は今日きわめて重要かつ有用なものとなっています。ぜひ関心を持って、しっかり学習してください。細かな知識を覚える必要はありません。意味や意義を少しでも深く理解するように学んでください。			

授業コード 911202 科目コード 121311

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 人権論		講師名： 松井真理子	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「地域科目」では、地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材をめざします。			
授業のねらい			
私たちは生まれながらに、誰にも奪われることのない権利として人権を持っていますが、私たちが住んでいる地域は、人間らしい生活ができていますか。この授業では、人権を差別の問題だけに狭く捉えず、基本からしっかり学びます。また差別を受けやすい立場にいるマイノリティの人たちが抱えている課題についても、地域の当事者を招いて実践的に学びます。社会構造の根底に人権があることを理解し、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会づくりの必要性を理解する、人権感覚に敏感な人づくりを目指します。			
到達目標			
1 人権の概念を正確に理解する。 2 人権を自分事ととらえ、社会構造と人権の関心に敏感になる。 3 マイノリティの人権について、個別の内容を理解する。 4 多様な人々が共生する地域社会づくりと人権との関係について正しく理解する。			
授業計画			
第1講 ガイダンス・人権とは何か 第2講 人権の体系 第3講 人権の歴史 第4講 表現の自由 第5講 刑事手続と人権 第6講 生存権 第7講 マイノリティの人権(障害がある人) 第8講 マイノリティの人権(子ども) 第9講 マイノリティの人権(ジェンダー) 第10講 マイノリティの人権(外国人①ニューカマー) 第11講 マイノリティの人権(外国人②オールドカマー) 第12講 マイノリティの人権(部落問題) 第13講 暮らしの中の人権 第14講 ダイバーシティ社会 第15講 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
毎講義時の課題 30% 定期試験 70% 毎講義時の課題として提出された内容について、次回の授業でフィードバックする。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
毎回講義時に、教員が作成する資料を配布します。 (参考文献) 四日市市人権センターの人権教育・啓発推進プログラム各種パンフレット			
事前・事後学習			
(授業前)日頃からテレビや新聞のニュースに目を通しておくこと(毎日30分程度) 授業内容について事前に予習しておくこと(60分) (授業後)学んだ内容を復習し、インターネット等で関連する文献を読むこと(90分)			
担当者から一言			
わかりやすい資料や地域の当事者の話によって理解を深めます。あらゆる社会システムや学術研究の目的は「人権」だと考えています。ぜひ受講してください。			

授業コード 915601 科目コード 121312

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： ジェンダー論	講師名： 高田晴美		
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の4分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
ジェンダーの問題とは、性差別的な問題から、差別とまではいかないけれども理不尽に思う人が出てくるという問題まで、様々あります。それだけに、解決方法も、制度やルールを変えていけば解決しうるものから、意識変革をしていかないと無理なものまで様々。社会通念や慣習の中でのジェンダーが、個人としての生きにくさにつながっていることをまずは知り、意識してもらいたい。その上で、ではどうすればいいのかを考えていきましょう。授業は2名の教員（高田・三田）で実施します。			
到達目標			
①ジェンダーとは何か、基本概念が説明できる。 ②社会の中にあるジェンダーに気づき、説明できる。 ③現代社会でなぜ男女共同参画が重要なのか、説明することができる。 ④性別ではなく、個人を基礎とする考え方に立って行動できる。			
授業計画			
第1講 ガイダンス、ジェンダーバイアス（高田） 第2講 ネーミング問題（高田） 第3講 〈女らしさ〉の罠—女はつらいよ（高田） 第4講 家制度（高田） 第5講 性別役割分業①—家庭編（高田） 第6講 不払い労働、見えない家事問題（高田） 第7講 性別役割分業②—社会編（高田） 第8講 メディアにおけるジェンダー表現①——フィクション編（高田） 第9講 メディアにおけるジェンダー表現③——CM・広告編（高田） 第10講 ワーク・ライフ・バランス（三田） 第11講 男性性とジェンダー—男もつらいよ（三田） 第12講 社会の中のジェンダー（三田） 第13講 恋愛にまつわる〈女性学〉〈男性学〉（高田） 第14講 身体にまつわる男女の非対称（高田） 第15講 まとめ（高田） 講義内容の順番が入れ替わる可能性があります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
毎回の小レポート 50% 定期試験 50% 小レポートについては、次回の講義でコメントを返し、さらなる深化をはかります。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
毎回講義時に、教員が作成する資料を配布します。			
事前・事後学習			
（授業前）日頃からニュースなどに目を通しておく。（毎日20分程度） （授業後）学んだ内容を復習し、世の中の様々な場面、場所に授業で取り上げた問題にひっかかることがないか見つけ、考える。（40分）			
担当者から一言			
「女性学」「男性学」の視点を持った2人の教員が、それぞれの持ち味を生かして分担します。ジェンダーを多角的に学べるチャンスです。			

授業コード 912701 科目コード 121313

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 法学		講師名： 中西紀夫	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の10分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。</p>			
授業のねらい			
<p>法学の発達の歴史を通して、法律と人との関わりについて学びます。すなわち、「法とは何か」という素朴な疑問から講義を始めていく予定です。講義形式は法に慣れ親しんでもらうため、特に六法（憲法・民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法）の由来あたりから説明し、これらの法律の概要を歴史的経緯を踏まえて、現代社会の様々な問題と照らし合わせながら講義します。もちろん、骨子や規定の理解のために、一方的な講義形式のみの形にならないように工夫をしていきます。</p>			
到達目標			
<p>社会科学系の学部で「法学」が中心的な教養科目に位置付けられているのが多いのは、各方面の指導者養成等のための単位取得要請科目であるというだけでなく、みなさんの将来の生活の糧となる学問であるということではないかと思えますので、その視点に立って講義を進めていきたいと考えています。最終的な到達目標としては、常に法律的な視点に立って物事を見れるようになることを目指します。</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス 第2講 六法の意味、社会規範 第3講 実定法と自然法、法源 第4講 制定法の体系、法の形式による分類 第5講 法の種別（国内法）、国内法と国際法 第6講 公法と私法、裁判による権利の実現 第7講 法の適用、法解釈における問題点 第8講 権利と義務、権利義務の主体と客体 第9講 罪刑法定主義 第10講 法と裁判（裁判の仕組み） 第11講 民事裁判、刑事裁判、行政裁判 第12講 司法権の独立と公開主義 第13講 自由心証主義、今日までの裁判の課題 第14講 裁判員制度とその課題 第15講 まとめ 定期試験</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>成績は、次のような評点配分です。 受講態度 30%:授業中に行う小テストの出来や出席状況も含む。 定期試験 70%:試験は論述形式で、すべて持込可です。 なお、授業中に小テストを実施した場合は、5段階評価を付けて2週間以内に返却します。</p>			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
<p>本年度は下記の著書を印刷して配布します。なお、修正や補足資料が必要な部分は、対応しますので安心してください。 参考文献：中西紀夫著『社会環境と法』嵯峨野書院（2010年11月30日）</p>			
事前・事後学習			
<p>毎回、予習90分と復習90分をお願いします。内容は、教材を読むこと及び自筆ノートや確認問題のチェックなどです。また、発展的な学び方を希望される方は、自分に合った六法を購入しておくともよいでしょう。</p>			
担当者から一言			
<p>授業中は私語厳禁とします。また、こちらの許可を得ない中座や勝手にスマホを見ることなども、もちろん禁止です。学生さんも体調等の問題や諸活動で、こちらにも臨機応変な対応が必要になることもありますが、中座や退室は私の許可を取ってください。出席する以上は、集中して受講しましょう。</p>			

授業コード 915301 科目コード 121316

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 民法入門		講師名： 小林 聖仁	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の11分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。</p>			
授業のねらい			
<p>法の分類には様々な分類方法があるが、民法とよばれる法分野に属する法は、その分量だけでも非常に多い。しかし、今後において他の法律を学んで行くにあたっては、契約・代理・不法行為・相続などの概念の理解が他の法分野の学習の理解に必須であるといえる。もっとも民法は昨年120年ぶりの大改正を迎えた。そこで、1年次に、民法の基礎をしっかりと学んでいただき、そこから法分野を学ぶ基礎とすることを目指したい。</p>			
到達目標			
<p>民法条文の主要部分につき基本的な定義（用語の意味）を正確に理解するとともに、就職するのであれば上司に、経営を志すのであれば専門職に対して、法的問題点の状況を適切に報告できることを目標とする。</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス、講義の概要（はじめに） 第2講 民法とは何か 第3講 財産法の仕組み（物権と債権）① 第4講 財産法の仕組み（物権と債権）② 第5講 財産法の全体像、権利の主体、契約の成立要件 第6講 契約の有効要件と代理総論 第7講 無権代理と表見代理、契約の効力発生要件、物権総論① 第8講 物権総論② 第9講 用益物権と債権総論① 第10講 債権総論② 第11講 債権総論③ 第12講 債権の履行確保の手段① 第13講 債権の履行確保の手段② 第14講 家族法 第15講 まとめ 定期試験</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>小テスト 60%、定期試験 40% 講義の後には随時で小テストを予定している。解答及び解説は次の講義の冒頭にプリントで配布するので、誤答した問題についてはテキストの記述との関連を確認しておくこと。</p>			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
<p>テキスト 伊藤真「伊藤真の民法入門（第7版）」日本評論社（2020年）定価：1870円（税込） 教材 適宜プリントを配布する。</p>			
事前・事後学習			
<p>講義を受ける前に予定されているテーマにつき、テキストを読んでおくこと（60分）。</p>			
担当者から一言			
<p>私語は厳禁。テキスト・教材・筆記具等を持参し、授業を受ける体制で参加すること。テレビ・新聞紙上で紹介される法的問題にも注意し、事前知識を得ておくとなおよい。</p>			

授業コード 913402 科目コード 121317

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 倫理学		講師名： フェリペ フェハーリ	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の13分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。</p>			
授業のねらい			
<p>ギリシャ語では、「倫理学」は「エートスに関する諸々の事柄」という意味をもつが、「エートス」とは何であるのか。この語は「いつもの場所」、「慣れた行動の仕方」や「性格」などと様々な異なる意味をもっている。本講義の目的は、「エートス」とは何であるのかを考えながら、この言葉から派生した「倫理学 (ethica)」の意味を探ることである。</p>			
到達目標			
倫理学の立場から、現代社会の問題を議論すること。			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス・「倫理」とは何か 第2講 エートス 第3講 古代倫理 第4講 幸福論 第5講 中世倫理 第6講 近代倫理 第7講 現代倫理 第8講 「力」と「責任」 第9講 世界人権宣言 第10講 生命倫理 第11講 動物の権利 第12講 ジェンダー 第13講 マイノリティーの権利 第14講 人工知能とロボット工学三原則 第15講 まとめ</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
受講態度：30% ミニレポート：20% 最終レポート：50% 学生自身が記入したミニレポートを講義中にコメントします。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
毎回、教員が資料を配布する。			
事前・事後学習			
毎回の講義で配布した資料をしっかりと読んで（毎週約60分）、不明な点があれば、次の授業でミニレポート用紙に書いてください。			
担当者から一言			
<p>真剣に倫理学を教える人、学ぶ人、研究する人は必ず倫理的に生活していると思いますか？ 善と悪、正と邪などは、時代、地域、宗教や文化などの要因によって変化しますが、「絶対的な倫理」と言うものはありますか？ 上述のような問題を考えながら、一緒に「エートス」の意味、倫理学の意味を探しましょう。</p>			

授業コード 913801 科目コード 121401

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 芸術学		講師名： 鬼頭浩文	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる 幅広い人間力を身につける			
授業のねらい			
<p>四日市市では、「街は劇場、通りは舞台 主役はあなた♪」の合言葉のもと、2012年から、市民ボランティアが中心になって「四日市 JAZZ フェスティバル」が開催されています。 この授業では、「四日市 JAZZ フェスティバル」を通じて街のにぎわいを創り出そうと取り組んでいる方々を講師に迎えて話を聞いたり、実際に現場に出かけて行ってボランティアスタッフとしてこの活動のお手伝いをしたりする予定です。学生諸君が、音楽イベントを通じたまちづくり活動の実際を五感を通して学び感じ取ってくれることを、ねらいとしています。</p>			
到達目標			
音楽フェスの運営方法を実践的に学ぶとともに、音楽をまちづくりにつなげる仕組みや市民の活動について学び、ここで得た知識を使って、将来地域社会で活躍できる人材になることが目標である。			
授業計画			
<p>第1講 (9/30) ガイダンス① 第2講 (10/7) JAZZ フェスとまちづくり (実行委員長 柳川) ② 第3講 (10/14) イベント打ち合わせ (実行委員会 山川) ③ 第4~9講 (10/16・17) 現地実習 (10/21) 休講 第10講 (10/28) 四日市 JAZZ フェスティバルの経費と協賛 (実行委員会 阪) ④ 第11講 (11/4) 四日市 JAZZ フェスティバルの発信とメディア (実行委員会 山川) ⑤ 第12講 (11/11) 四日市 JAZZ フェスティバルの会場設営 (実行委員会 堀木) ⑥ 第13講 (11/18) 音楽イベントと音響 (関根) ⑦ 第14講 (11/25) 音楽イベントとしてのオペラの制作とミュージカルとの比較 (関根) ⑧ (12/2以降は予備日) 第15講 (2022/1/27) まちづくりにおける音 (前川) ⑨ 定期試験 ※都合により講義計画が変更になる可能性があります。現地実習を遅刻・欠席した者には、クラブの試合等が理由であっても、原則として単位は与えません。忌引きや伝染病などの公欠にあたる理由が発生した場合は、課題などで代替することを検討します。 </p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
現地実習に取り組む姿勢・パフォーマンス 30%、講義で課す課題 40% (①~⑧)、定期試験 (レポート) 30%で総合評価する。小レポートに関しては、採点し、学生の疑問や理解の足りない部分について、授業の中でフィードバックする。			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
JAZZ フェスのパンフレットと配布資料			
事前・事後学習			
座学は必ず講義を1時間ほどかけて振り返り、課題に取り組むこと。また、フィールドワークについて、記憶が消えないうちにパンフレットを見ながらイベントを振り返ること。			
担当者から一言			
最も重要な現地実習に参加できない学生は、単位の修得が極めて困難になります。			

授業コード 914501 科目コード 121403

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 文学		講師名： 永井 博	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の14分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
この講義では、近代日本の反戦文学・反戦思想を取り上げる。安倍内閣による集団的自衛権の行使容認についての閣議決定は2014年7月1日、そしていわゆる安全保障関連法案の参議院での可決・成立は2015年9月19日のことであった。日本はより戦争をしやすい国になっているのであり、平和憲法の理念が揺らいでいるのである。このような現代の状況の中で、近代日本、あるいは19世紀から20世紀の世界で唱えられた反戦文学・反戦思想を振り返ることは非常に大きな意義がある。			
到達目標			
近代の貴重な精神的遺産である反戦文学・反戦思想をともに読むことで、平和な世界をいかに実現していくかについての考え方を学ぶことが目標である。			
授業計画			
第1回 ガイダンス 第2回 日清戦争概説 第3回 与謝野晶子「君死にたもうことなかれ」 第4回 日露戦争概説 第5回 陸羯南などの日露戦争主戦論 第6回 トルストイ「汝悔い改めよ」 第7回 幸徳秋水「戦争来」 第8回 内村鑑三の日露戦争非戦論 第9回 前半のまとめと復習（グループワーク） 第10回 ヴェトナム戦争概説 第11回 ポブ・ディラン「風に吹かれて」 第12回 武満徹・谷川俊太郎「死んだ男の残したものは」 第13回 日本国憲法第9条概説 第14回 加藤周一他「9条の会」 第15回 全体のまとめと復習（グループワーク） 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
受講態度50%、定期試験50%を目安に総合的に判断する。提出物は評価を付けたうえで翌週以降の講義で返却する。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
プリントなどの資料を配布する。			
事前・事後学習			
普段から新聞やテレビやインターネットなどで、日本、アジア、そして世界の現在の戦争に関する報道に接しておくこと。講義では明治から昭和までの反戦文学・反戦思想を取り上げるが、常に現代の状況にも注意を払う必要があるからである。(90分) また、講義で取り上げる与謝野晶子や内村鑑三などのテキストは、それぞれのテキストの原文の一部であることも多い。図書館などで簡単に読むことができるのでその全部を自分で読むこと。(90分)			
担当者から一言			
この講義のテーマは反戦文学・反戦思想なので、取り上げる題材は主として日本の近代文学・現代文学である。しかし「日本」にも「文学」にもこだわるつもりはない。「外国」や「音楽などの文学以外のいろいろな表現」も取り上げるつもりである。			

授業コード 911401 科目コード 121404

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 歴史学		講師名： 岡 佑哉	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の3分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。</p>			
授業のねらい			
<p>現代の国際秩序・国家体制・社会状況・価値観などは、すべて歴史的な背景のもとに形成されているが、歴史というと単なる「暗記科目」という印象を持つ人も多いと思われる。 しかし、歴史学という学問は、常識にとらわれず通説を疑い、史料という根拠に基づき歴史上の人物・出来事・時代の捉え方を考察するものである。 本講義は、日本史（特に近現代史）を中心に教養としての知識のみならず、歴史学という学問の意義を学習する。その際、教科書的な通説とあわせ近年の研究を紹介し、歴史には多様な捉え方が存在することを学ぶ。</p>			
到達目標			
<p>①教養としての歴史（本講義は日本史中心）の知識を身につける。②知識を活用し文章で説明する力を身につける。③物事を複眼的・客観的に捉える力を身につける。</p>			
授業計画			
<p>第1回 ガイダンス 第2回 日本文化のはじまり—縄文・弥生・古墳時代— 第3回 律令国家から王朝国家へ—飛鳥・奈良・平安時代— 第4回 武家政権の成立と展開—鎌倉・室町・戦国時代— 第5回 江戸幕府の支配体制—江戸時代— 第6回 討幕運動と明治新政府の成立—幕末・維新时期— 第7回 国会開設運動と憲法制定—明治時代中期— 第8回 日清戦争と日露戦争—明治時代後期— 第9回 大正デモクラシー—大正時代— 第10回 満洲事変と「国家改造」運動—昭和戦前期— 第11回 日中戦争から日米開戦へ—昭和戦時期(1)— 第12回 アジア・太平洋戦争—昭和戦時期(2)— 第13回 戦後日本と象徴天皇制—昭和戦後期— 第14回 平成日本の政治と社会—現代— 第15回 講義の総括 定期試験</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>①筆記試験（70%）、②平常点（30%）。出席が前提で、毎回講義の終わりに内容についての感想・質問を書いたペーパーを提出。その取り組みを評価する。 コメントペーパーは次の回の講義で、質問への回答や事実関係の確認を行うことで、学生の理解の向上につなげる。</p>			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
なし。毎回プリントを配布する。			
事前・事後学習			
<p>①本講義は特に復習に力を入れてほしい。講義のプリントを熟読しつつ、板書内容を整理し次回の講義に備える。②歴史は現代の世界・日本の出来事と繋がっている。大学生として新聞・ニュースを読むこと。（90分）</p>			
担当者から一言			
<p>・遅刻・私語・他ごと厳禁。遅刻者にプリント・出席カードは配布しない。 ・バイトなどと称した無断早退、無断退出厳禁。 ・コメントペーパー代筆厳禁。 ・コロナ感染状況の悪化の場合 オンデマンド型に変更。講義内容を文章化した資料を配布する。試験はレポートに（剽窃＝他人の文章を盗むこと、は失格）。</p>			

授業コード 915302 科目コード 121411

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 自然科学概論		講師名： 田中伊知郎	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の4分野を幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。</p>			
授業のねらい			
<p>個人を扱うのが文学で、ムラの人々のような集団を議論するのが社会学や文化人類学ですが、さらに大きな集合的な見方をするのが自然科学です。それは人間だけでなく、物質やその関係などの自然現象全体に広がります。そして、経済活動でも同じ動きが見られます。それらはどのように変化するかを説明します。</p>			
到達目標			
<p>文学のように個人を扱うのではなく、集団としての見方を獲得します。さらに、たし算や掛け算などと違う自然の変化の仕方を見通す能力を身につけます。</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス：自然観察の有益性 第2講 自然現象と人間の思いの違い 第3講 事実 第4講 仲間(人間社会)から自然へ 第5講 個別でなく集団で考える：集合(分類からの実習) 第6講 自然数から連続量へ 第7講 指数の導入：細菌の増殖 第8講 桁数と指数(計算実習) 第9講 日常の指数：複利と物価(計算実習) 第10講 借金と情報の非対称性(ローン計算実習) 第11講 客観的な関係である関数：一次関数と予測可能性の実習 第12講 指数関数：立ち上がりの早さ(グラフ作成実習) 第13講 ゆらぎ 第14講 統計的比較と有意確率 第15講 まとめ：自然科学の客観性 定期試験 持ち込み不可</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>講義内各回の終わりに練習問題(実習：実践課題)をやります。講義中の課題は、コメントをつけて、合格するまでやり直してもらいます。 実践課題 60% 定期試験 40%</p>			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
なし。			
事前・事後学習			
<p>授業当日に講義内容のノートを見返して、メモした疑問点を調べてください(60分)。2・3日後に、ノートを再度読んで(30分)、その次に当たることを考えてください (30分)。講義の前日に、ノートを読み返して、ノートの空白に書き込み整理してください(60分)。</p>			
担当者から一言			
<p>できるだけ日常的な言葉で説明します。実践課題の結果、理解の浅いところは、講義を修正して再度行い、より深い理解に努力します。</p>			

授業コード 912702 科目コード 121501

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 数学概論		講師名： 吉見 勝冶	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の5分野を幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
金融、マーケット調査、遺伝学、薬学、人口統計、政治学など幅広い分野で確率論、特にマルコフ連鎖という考え方が応用されています。本講義では確率論とマルコフ連鎖の基本的な考え方を理解し、演習問題を解けるようにすることを目標とします。			
到達目標			
(1) 確率が使われる場面を知ること (2) 行列の簡単な演算ができるようになること (3) マルコフ連鎖について理解すること			
授業計画			
第1講 ガイダンス 一世の中は確率に溢れている 第2講 論理 第3講 集合 第4講 数え上げの原理 第5講 順列と組合せ 第6講 標本空間、事象、確率 第7講 和事象、共通事象、余事象 第8講 条件付き確率 第9講 ベイズの公式 第10講 確率変数、確率分布、期待値 第11講 マルコフ連鎖の性質 第12講 正則マルコフ連鎖 第13講 吸収マルコフ連鎖 第14講 演習 第15講 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
出席率と積極性（40%）、期末試験の結果（60%）を元に評価します。都度宿題を出した場合にはその内容についても加味します。提出された宿題は以降の講義で返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキスト：配布資料、プレゼン資料 参考資料：R. A. Barnett 他著、柳沼壽訳「初歩からの数学Ⅲ」丸善出版（2015年）			
事前・事後学習			
講義内容について配布資料とノートを見直し、復習するようにして下さい（60分）。インターネットや新聞で統計データや予測データを見かけた時に、その根拠と推計方法について考えるよう意識して下さい（60分）。			
担当者から一言			
世の中、様々な未来の「推計値」が出されています。単純に信用していませんか？本講義を通じて、確率やマルコフ連鎖の考え方を理解し、推計値がどのような計算で出されているか意識できるようにしてもらいたいと思います。			

授業コード 915202 科目コード 121504

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 線形代数		講師名： 金岩 稔	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
この講義では線形代数の基礎を理解するために、一般的な集合と写像の理解からはじめ、ベクトルや行列の性質を理解します。これらを用いて連立一次方程式の解法の理論化を行います。			
到達目標			
集合・写像の理解と、線形代数における関数の理解、ベクトル行列の性質や解法を理解する。			
授業計画			
第1講 ガイダンス、線形代数とは 第2講 集合と写像 第3講 数ベクトルと行列 第4講 行列とその演算 第5講 行列とその演算(つづき) 第6講 色々な行列 第7講 逆行列の求め方 第8講 内積と直交行列 第9講 連立方程式の解き方 第10講 平面上の一次変換 第11講 固有値と固有ベクトル 第12講 行列式の展開公式 第13講 行列式の計算法 第15講 行列式の計算法(つづき) 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
期末試験により評価します。講義中に小テストや課題を課した場合はその結果もプラスします。講義中に問題を解いてもらい、その場で解法を説明しフィードバックします。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
特に設定しません。			
事前・事後学習			
講義前には、これまでに学習した内容を復習しておくこと(60分)。講義後には、学習した内容を復習し、課題を行うこと(120分)。			
担当者から一言			
復習が大変重要で、事前の講義内容を理解していることを前提に講義を進めるため、欠席した場合には各自の責任の下講義内容の把握を行ってください。			

授業コード 912301 科目コード 121505

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 統計学		講師名： 井岡幹博	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。</p>			
授業のねらい			
<p>環境関連の実験を行うと計測結果としてのデータが得られます。 フィールド調査やアンケート調査を行っても、様々なデータが得られます。得られたデータを整理・分析し、データの中に潜む対象物の本来の姿を引き出す技術が統計学と言えます。たとえば、限られた数の データから全体の姿を推定すること、得られたデータから役に立つ情報を引き出すことができるのみならず、確率の問題まで、統計学は含みます。ここでは基本的な事柄から応用までを具体的な例、グラフ等 を使って説明し、実習していきます。</p>			
到達目標			
<p>確率変数の意味を理解する。2つの確率変数の相関係数が計算でき る。正規分布の意味を理解する。回帰分析が実行できる。</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス 第2講 平均の性質 第3講 分散と標準偏差 第4～5講 回帰分析 第6講 相関係数 第7講 順列と組み合わせ 第8講 標本空間と事象 第9講 確率 第10講 条件付き確率 第11講 ベイズの公式 第12講 確率変数 第13講 正規分布(1) 第14講 正規分布(2) 第15講 データが世の中でどのように使われているか 定期試験</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>課題提出 50% 定期試験 50% 提出した課題はその都度採点して返却します。</p>			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
<p>テキスト・教材 長谷川勝也著「イラスト図解 確率・統計のしくみがわかる本」 技術 評論社 1,706円 参考文献 宮川公男著「基礎統計学 第4版」 有斐閣 ¥2800+税</p>			
事前・事後学習			
<p>配布されるプリントを熟読すること(予習)。毎回課される課題を自宅 で演習すること(復習)。</p>			
担当者から一言			
<p>授業内容確認のための課題を出します。とくに予備知識は必要としま せん。加減乗除が計算できれば、課題は解けます。まずは、ちゃんとノー トを準備することです。</p>			

授業コード 913802 科目コード 121506

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 化学1		講師名： 牧田直子	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の6分野を幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
化学は物質を扱う学問であり、「化学の目＝物質を見る目」を養うことがこの講義のねらいである。自然界は様々な物質によって成り立っており、それらの正体は何なのか、その物質に関する自然の法則を探求していくのが化学である。物質を作る原子や変化のしくみを学び、様々な角度から物質を眺めることによって、物質の本質に迫る手段を増やすことができる。これらは電子の配置や挙動を追うことで説明できるので、電子については詳しく解説する。 関連科目は「環境化学」、「環境化学実験」など。			
到達目標			
「元素の周期表からの確かな情報を引き出す」 物質の構成要素がわかれば、その物質の性質を予測する手がかりになる。物質は元素で構成されており、元素の一覧表である周期表から非常に多くの情報を読み取ることができる。周期表を使いこなせるようになる。			
授業計画			
第1講 ガイダンス、化学の学び方 第2講 物質とは何か 第3講 身の回りの物質 第4講 物質の性質 第5講 物質の状態 第6講 原子と電子軌道 第7講 電子配置と周期表 第8講 化学結合1 第9講 化学結合2、物質質量 第10講 気体と溶液の性質 第11講 化学反応 第12講 酸と塩基 第13講 酸化と還元 第14講 光 第15講 まとめ 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
宿題プリント（13回分）：25%、試験：75% 宿題は翌週の講義開始10分以内に提出。遅れたものは受け取らない。欠席・遅刻の予定がある者は前日までに提出すればよい。宿題の評価は正解率ではなく、解答率（問題数に対する解答数）に準ずる。 宿題プリントと授業内に行った演習プリントは、採点して返却する。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
教科書： 日本化学会 化学教育協議会「グループ・化学の本21」編『『化学』入門編 ― 身近な現象・物質から学ぶ化学のしくみ』化学同人（2007）、2160円（税込）			
事前・事後学習			
(1) 予習・復習のために宿題プリントを配るので、解答する（90分）。 (2) 教科書を読む（60分）。 各回の講義に該当する教科書のページ数を明記した講義計画を初回の授業で配布する。予習のポイントは宿題プリントに記載する。 (3) ノートの見直し、まとめ（30分）。			
担当者から一言			
ノートを用意して下さい（ルーズリーフは不可）。試験は自筆のノートと電卓のみ持ち込みを許可します。 講義で分からなかったことは聞きましょう。授業後の質問、プリントの事前提出・受取は6号館4階6412室へ。			

授業コード 913201 科目コード 121508

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 生物学		講師名： 田中伊知郎	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の8分野を幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
自然科学のうち生物学が扱うことを、はっきりさせて行きます。まず、生物の活動に必要なエネルギーについて、次に、生物がどのように情報を処理するのか(生理学的な情報と遺伝学的な情報)を明らかにしていきます。			
到達目標			
人類の諸問題を考える上で、土台となる人間についての知識を養うこと、人間の生物としての特徴が生活や社会にどのように影響するのか明らかにすることをこの講義の到達目標とします。			
授業計画			
第1講 ガイダンス・自然に働きかける人間：大学周辺の森の見学(フィールドワーク) 第2講 生物のエネルギー：代謝 第3講 光合成：エネルギーの生産 第4講 呼吸：エネルギーの活用 第5講 生体物質：反応できる窒素 第6講 タンパク質：安定した生体物質 第7講 RNA：即時処理のための核酸(形を理解する実習) 第8講 遺伝的情報：安定した核酸であるDNA 第9講 遺伝子：DNA内の情報システム 第10講 遺伝子発現の情報処理 第11講 生物の環境応答：刺激の受容 第12講 生理的情報：刺激伝達と神経システム 第13講 生理的情報の統合：興奮と抑制 第14講 環境への反応：効果器の代表としての筋肉 第15講 行動：統合された反応 定期試験 持ち込み不可			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
講義の各回の終わりに練習問題(実践課題)をやります。講義中の課題は、コメントして合格するまでやり直してもらいます。 実践課題 60% 定期試験 40%			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
なし。			
事前・事後学習			
授業当日に講義内容のノートを見返して、メモした疑問点を調べてください(60分)。2・3日後に、ノートを再度読んで(30分)、その次に当たることを考えてください (30分)。講義の前日に、ノートを読み返して、ノートの空白に書き込み整理してください(60分)。			
担当者から一言			
生物同士や生物と外部環境のかかわり合いのパターンを知る便利な手段が「生物学」です。DNA と遺伝子の違いなど、日常よく使われていながら誤解の多い言葉の意味に注意して、できるだけ日常的な言葉で説明します。			

授業コード 914401 科目コード 121509

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 環境論		講師名： 吉山青翔	
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の10分野を幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
この講義では、環境に関する基本的な概念と含意を明らかにしたうえで、「環境問題史・環境運動史・環境思想史」の探求を通して、受講者に環境問題の全体像を把握させ、環境問題の解決に対する基本的な思想的基礎を据えさせることを目指します。			
到達目標			
環境問題の全体像を把握し、自分の環境観の形成を期待することができるでしょう。			
授業計画			
第1講 ガイダンス：環境論の仕組み及び課題 第2講 「自然」の定義と仕組み 第3講 「環境」の定義と仕組み 第4講 「文化」の定義と仕組み 第5講 「人間」の定義及び「自然」「環境」「文化」との関連性 第6講 環境に関する人類の認識1：ヒポクラテスによる医学上の見 解 第7講 環境に関する人類の認識2：C. ダーウィンによる生物学上の見解 第8講 中間テスト 第9講 環境に関する人類の認識3：C. ベルナルによる生理学上 の見解 第10講 環境に関する人類の認識4：C. ラッツェルによる地理学上 の見解 第11講 科学と技術の結合、及び蒸気エネルギーの発見 第12講 蒸気エネルギーの実用化と産業革命、及び近代環境問題の発 生 第13講 環境に関してレイチェル・カーソンと「ローマ・クラブ」の警告 第14講 国連「人間環境宣言」と環境保護運動のグローバル化 第15講 総括：環境問題の解決に対する思想的基礎：環境倫理学			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
中間テスト（30点）・期末定期試験（70点）により総合評価。毎回授業が終わる前に、授業の内容と質問に関するミニレポートを提出してもらい、次回授業でそれに基づいて再確認とコメントする。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
参考資料 王青翔（吉山青翔）著『「算木」を超えた男～もう一つの近代数学の誕生と関孝和』（東洋書店、1999年） 小川 束『和算 江戸の数学文化』（中央公論新社、2021年） 他、随時に授業内容に関する予習などの資料を指定、配布します。			
事前・事後学習			
授業前に次回の授業内容を確認し、それに関する指定、あるいは配布された資料を使って1時間半ほどをかけて予習しておき、授業後に自分の取ったノートと配布された資料を使って1時間半ほどをかけて復習してください。			
担当者から一言			
この講義は板書がやや多いので、ノートを取ることが苦手な者には不向きです。			

授業コード 912601 科目コード 121512

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 科学的思考論	講師名： 吉山青翔		
配当年次： 1 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「一般教養科目」では、社会科学、人文科学、自然科学の3分野を、幅広く学び、学部ごとに設置された専門教育課程に向けた学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
今日、国際社会で、日本が果たす役割が大きくなりつつあり、そして、近年、数多くの日本人科学者がノーベル賞を受賞しているに伴い、日本の科学、技術、さらに日本人の科学的な独創力と科学的思考方式はますます注目されています。 本講義は、江戸時代における日本人の数学の思考様式と特徴、その形成と社会的創造風土の関係、さらに近代日本社会とのつながりを中心として日本人の科学的思考様式をさぐります。			
到達目標			
日本人の科学的思考様式および科学上の発見と発明の特徴を歴史的に把握し、日本の科学技術に関する諸社会的問題に関する理解に思想的な基礎を据えることができるでしょう。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 科学、技術、そして社会との基本的な関係 第3講 日本における伝統科学と近代科学の構図 第4講 日本の伝統天文学と医学、及びその基礎～中国の伝統天文学と医学 第5講 日本の伝統科学と朝鮮の伝統科学との関連性 第6講 日本数学の基礎1：中国の数学記号体系 第7講 日本数学の基礎2：中国の代数学思想 第8講 日本数学の基礎3：中国の方程式思想 第9講 日本数学の伝統：遺題継承と算額奉掲 第10講 日本の伝統的な数学記号体系：傍書法 第11講 日本の伝統的な導関数：窮商 第12講 日本の伝統的な極限法：増約術 第13講 日本の伝統的な積分法：円理 第14講 日本伝統科学の衰退と近代西洋科学の受容 第15講 総括			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
中間テスト（30点）と期末テスト（70点）により総合評価。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキスト 王青翔（＝吉山青翔）著『算木を超えた男～もう一つの近代数学と関孝和』（東洋書店、2004年第2刷発行） 参考文献 藪内 清著『中国の数学』（岩波文庫） 小倉金之助著『日本の数学』（岩波文庫）			
事前・事後学習			
授業前に90分ほどをかけて指定された資料とテキストを予習しておき、授業後にも90分ほどをかけて、配布された資料、自分が取ったノート、テキストを使って復習してください。			
担当者から一言			
1) 本講義は一般教養科目ですので、公務員試験など資格試験には直接役に立ちません。2) 授業中、パワーポイントなど電子機器を使わず、板書がやや多いので、ノートを取らない者は本講義には不向きです。			

授業コード 912801 科目コード 121513

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： フィールドワーク論	講師名： 富田 与		
配当年次： 1 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
この講義では、「聞き取り」と「参与観察」での発問の仕方を中心に考えていきます。「聞き取り」と「参与観察」では、ある目的を持って質問していくことが求められます。何を、どのように質問したらいいのでしょうか。講義では、具体的なフィールドワークの報告を読みながら、「ライフヒストリー」、「談話分析」などそれぞれの報告で使われている方法を踏まえた、発問の仕方を考えていきます。毎回の課題に関するディスカッションの形で講義を進めます。			
到達目標			
調査に必要な独自の質問項目表を作成することができる。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 序章 現代文化のフィールドワークとは何か 第3講 第1章 出産：ドキュメント分析とインタビュー調査の齟齬から 第4講 第2章 地域政策：ドキュメント分析からインタビュー調査へ 第5講 第3章 共生文化：談話分析と参与観察の齟齬から 第6講 第4章 介助者：参与観察からライフヒストリー（キャリア・パス分析）へ 第7講 第5章 祭り：儀礼調査から見た社会変容 第8講 第6章 民藝：「モノ」への注目 第9講 第7章 頼母子講：参与観察（生活者として） 第10講 第8章 引揚者：ドキュメント分析・オーラルヒストリーの比較 第11講 第9章 信心：オーラルヒストリーと世界観 第12講 第10章 エスノメソッド：エスノメソドロジー 第13講 第11章 住民のためらい：エスノメソドロジーの発明（メディア社会との関係） 第14講 調査計画とは（レポートのガイダンス） 第15講 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
講義への参加度（発言等）：30% 各回のレポート：30% 最終レポート：40% 各回のレポートは講義の中で発表してもらいます。 最終レポートは希望者には返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
『現代文化のフィールドワーク入門』 山泰幸・足立重和編 ミネルヴァ書房 3,000円 絶版となっているため、基本的にはコピーを用意します。			
事前・事後学習			
各章のレポートを作成してもらいます（180分）。			
担当者から一言			
調査やインタビューに関する面白い新書の出版が相次いでいます。ぜひ手にとって読んでみてください。 *経済経営学科の再履修がいるため、今年も同じテキスト使うことにしました。			

授業コード 913403 科目コード 262102

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名：アントレプレナーシップ論	講師名：岡 良浩		
配当年次：2 年次	単位数：2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する			
授業のねらい			
この講義では起業家精神（アントレプレナーシップ）を養うための講義と演習を行います。 起業家精神とは、事業を起す可能性を追求する能力のことです。このような能力は、例えば暗記したり学説を理解したりする能力とは全く異なり、創造的思考が必要です。 まずアントレプレナーシップの事例を学びます。次に創造的思考の技法を学びます。最後に、ソーシャルビジネスを事例に、これらがどのような共通の発想で成り立っているかを理解したうえで、自らビジネスモデルの立案を試みます。			
到達目標			
以下の3つを掲げています。 ① アントレプレナーシップが事業者にどのように活用されているかを理解する。 ② 創造的思考の技法を身につける。 ③ 自ら事業企画を立案する。			
授業計画			
第1講 4/8 ガイダンス 第2講 4/15 アントレプレナーシップと事業事例1 第3講 4/22 アントレプレナーシップと事業事例2 第4講 5/6 アントレプレナーシップと事業事例3 第5講 5/13 創造的思考実習1（ブレインストーミング/KJ法） 第6講 5/20 創造的思考実習2（ソーシャルビジネスの企画立案） 第7講 5/27 企画立案のフィードバック 第8講 6/3 ビジネスプランコンテスト 第9講 6/10 事業計画の構成1（総論） 第10講 6/17 事業計画の構成2（ファイナンス）※1 第11講 6/24 ビジネスモデル立案の実習1 第12講 7/1 ビジネスモデル立案の実習2 第13講 7/8 ビジネスモデルのフレームワーク 第14講 7/15 企業家育成経営塾 ※2 第15講 7/22 まとめ ※1は、株式会社三十三総研が提供する授業です。 ※2は、三重県信用保証協会が提供する授業です。 ※1・※2は日程・内容などが異なる場合があります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
課題への取り組み（50%）学期末のレポート試験（50%） 提出された課題は、コメントをつけて返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
特に使用しません。講義中に適宜プリントを配布します。			
事前・事後学習			
参考文献は講義中に示します。事前に学習してください（90分）。 報告や小レポートの提出を求めますので自宅で行ってください（90分）。			
担当者から一言			
この授業を通じてビジネスプランが完成すれば、株式会社三十三総研のビジネスプランコンテストに応募していただきます。是非、応募をめざしてください。			

授業コード 914101 科目コード 262107

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： ミクロ経済学		講師名： 鬼頭浩文	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
この講義では、公務員や金融機関、大学院などをを目指す学生に対して、経済学の知識をわかりやすく伝授する。具体的には、職業人として必要な経済を見る力を身につけることと、企業の就職試験や公務員の教養試験における経済学分野の問題を解くための勉強を行う。できる限り、受験テクニックだけでなく、実際の社会の仕組みについても学ぶ。			
到達目標			
経済学の基本的知識を理論的に理解し、試験問題の解答を導き出す能力を身につけることが到達目標である。			
授業計画			
9/28 1. ガイダンス<課題①> 10/5 2. 無差別曲線と消費者の行動① 10/12 3. 無差別曲線と消費者の行動②<課題②> 10/19 4. 企業の行動① 10/26 5. 企業の行動②<課題③> 11/2 6. 需要の価格弾力性① 11/9 7. 需要の価格弾力性②<課題④> 11/16 8. 市場メカニズムと安定性 11/30 9. 比較優位の理論①<課題⑤> 12/7 10. 比較優位の理論② 12/14 11. 財政政策・金融政策①<課題⑥> 12/21 12. 財政政策・金融政策② 1/11 13. 公共財の供給<課題⑦> 1/18 14. 外部不経済 1/25 15. その他の経済学の問題演習			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業を理解した上で課題(8回を予定)を提出することが、単位認定の最低条件。その上で、課題50%、期末試験50%の割合で総合的に評価する。課題は、添削やコメントを記して返却する。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
資格試験研究会編「大卒程度 警察官・消防官 新スーパー過去問ゼミ 社会科学〔改訂第2版〕」実務教育出版(2018年)1430円(税込) ※ このテキストは、公務のための経済学・政治学・法学の3科目共通です。このほかにプリントも配布することがあります。			
事前・事後学習			
指示した練習問題にトライして、理解できない問題は次回の講義で質問できるように準備をしておくこと。8回の課題には、各3時間ほどを要するので、計画的に取り組むこと。この講義は、全学共通教育科目の「経済学」単位取得後の受講が好ましい。			
担当者から一言			
公務員試験・社会科学系大学院では、経済学の知識は必須である。内容はとても難しいが、パワーポイントなどでわかりやすく解説する。			

授業コード 912602 科目コード 262112

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 現代財政学		講師名： 鶴田利恵	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する。			
授業のねらい			
この講義では、財政の基本的な理論や考え方、経済政策や社会保障制度、税の基礎理論と税制の仕組みについて、ミクロ経済学・マクロ経済学の両面から学んでいきます。また、現在の日本が抱えている財政上の諸問題についても適宜解説していきます。授業では、鶴田による解説だけではなく、みなさんの意見や疑問をぶつけ合い、活発なディスカッションを行いながら進めていきます。			
到達目標			
財政の基本的な考え方や仕組みを理解し、日本の財政政策について自分なりの意見を言える力を身につける。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 政府の役割 第3講 市場と政府 第4講 財政の仕組み 第5講 公共財 第6講 経済政策 第7講 社会保障制度 第8講 社会政策 第9講 税制の設計 第10講 直接税 第11講 間接税と税制改革 第12講 政府の借金 第13講 地方分権 第14講 公民連携 第15講 まとめ 定期試験*対面での講義を予定していますが、受講者数によってはオンデマンドになる場合もあります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業態度 (20%)、定期試験 (80%) により評価します。 フィードバック方法：授業中もしくは授業後に寄せられた質問に対しては、適宜、授業内で回答していきます。			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
コピーを配布します。 使用テキスト：山重慎二「財政学」中央経済社ベーシックプラスシリーズ (2016年) 2, 400円 (税別)			
事前・事後学習			
日頃からテレビ、新聞、インターネットなどなんでも良いので経済ニュースに触れておくこと (毎日1時間以上。まとめてでも小刻みでも構いません。電車の中でネットでニュースを見るのもOKです)。講義後は、その日のテキストを必ず読み返す (30分以上)。			
担当者から一言			
質問や意見はおおいに歓迎です。ただし、私語、携帯電話の使用は禁止します。特に、注意をしても私語や携帯電話の使用をやめない場合には、退出 (もちろん欠席扱い) を命じるか、もしくは携帯電話を没収します。			

授業コード 911204 科目コード 262114

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 経済統計学		講師名： 田中伊知郎	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
公的統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるための基本的知識を学びます。単純集計、度数分布、代表値、散布度、クロス集計などの記述統計データの読み方や、グラフの読み方、また、それらの計算や作成のしかた。さまざまな質的データの読み方と基本的なまとめ方を明らかにしていきます。社会調査士認定に関するC科目に相当します。			
到達目標			
相関係数など基礎的統計概念、擬似相関の概念などを身に付けて、実際のデータに適用できるようにします。また、因果関係と相関関係が区別できるようにします。			
授業計画			
第1講 ガイダンス：平均値が便利なこと(買い物で使っている)の確認 第2講 度数分布表の作成：いろいろな値段のある回転寿司屋さん 第3講 いろいろな代表値(中央値・最頻値・分散・標準偏差) 第4講 既存統計資料の読み方と使い方 第5講 量的データと伴って変わる量 第6講 比例と1次関数 第7講 1次関数のグラフの拡張：散布図 第8講 Excelを使つての散布図の作成 第9講 1次関数と相関係数 第10講 Excelを使つての相関係数の求め方 第11講 相関係数の性質 第12講 データの性質の拡張：質的データ 第13講 データの入力と照合(統計的資料を使つて) 第14講 クロス集計(質的データにおける関連性)の説明 第15講 相関関係・関連性と因果関係の違い：擬似相関と実験計画 定期試験 持ち込み不可 第2講から第14講までパソコンを使つての実習となります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
毎回の課題の達成度を採点し、点数として合計(60点満点)します。定期試験(40点)と合計して成績とします。点数を提示し、次回までの課題も示します。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
なし。			
事前・事後学習			
授業当日の夕方、パソコン実習で保存したファイルまたはプリントアウトを見返してください(30分)。2・3日後に、プリントアウトを見直して(30分)、その次に当たることを考えてください(30分)。講義の前日に、パソコン実習で保存したファイルを見返して、ノートに書き込み整理してください(60分)。			
担当者から一言			
パソコン教室の実習形式で行います。パソコンを使うと、統計解析がスムーズに進むとわかってもらいます。			

授業コード 913301 科目コード 262115

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 経済政策		講師名： 鬼頭浩文	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する			
授業のねらい			
この講義では、経済政策の効果について考えていく。この経済政策の効果は、まず「競争」についての知識がないと理解できない。ここでは映像や外部講師により、直感的・感覚的に「競争」を感じながら学んでいく。ここでは、できるかぎり事例を紹介しながら説明する。講義の後半には、実際の日本の経済政策について各自で調べ、資料を作成していく課題に取り組む。その上で、テーマごとにディスカッションを通し、より深く経済政策を理解する。			
到達目標			
経済政策について深く理解し、自分の考えをレポートにまとめる力を身につけることが目標である。			
授業計画			
9/29 1: ガイダンス 10/6 2: コロナ禍の金融政策 10/13 3: 金融制度の裏側を知る 10/20 4: 中国の医療に関する政策① 10/27 5: 中国の医療に関する政策② 11/3 6: 日本の医療保険と生活保護① 11/10 7: 日本の医療保険と生活保護② 11/17 8: 独占禁止政策① 11/24 9: 独占禁止政策② 12/1 10: 独占禁止政策③ 12/8 11: 実際の独占禁止政策(講師: 公正取引委員会) 12/15 12: コロナ禍の地域経済政策 12/22 13: 復興の財政政策 1/12 14: 復興の金融政策 1/19 15: 講義の振り返り			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
テーマごとに実施するレポート試験(25%; 5回を予定)、2つの課題(30%)、学期末試験(45%)により、総合的に評価する。課題は期末試験に持ち込んで参考にするため、フィードバックとして、課題の解説や学生の主な間違いを指摘し、要望のある学生には課題の点数を伝える。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
テキストは購入しない。講義でプリントを配布する。			
事前・事後学習			
レポートや課題に取り組む準備学習・事後学習の時間を確保すること。必要な時間は、レポート各3時間(15時間)ほど、課題は各10時間ほど(20時間)が必要である。また、期末試験に向けて、授業全体を振り返る復習が10時間ほど必要である。			
担当者から一言			
出席して、参加して、理解すること、これらの全てが重要である。提出されたレポートや課題によって参加意欲と理解度を厳しく判定する。楽しくて、かつ社会に出て役立つ何かを獲得できる講義を目指す。			

授業コード 913602 科目コード 262119

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 環境経済学		講師名： 鬼頭浩文	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる			
授業のねらい			
<p>環境を守ることはとても大切なことだが、環境改善の努力が他の環境破壊を生んだり、資源の無駄づかいを発生させたりすることがある。環境政策を考える場合、ある環境問題を解決する対策のメリットとデメリットを、総合的に冷静に比較することが求められる。この講義はオムニバス形式で進め、地元や海外のローカルな環境問題からグローバルな問題まで多面的に取り上げ、環境政策について学習していく。</p>			
到達目標			
<p>環境問題の持つ難しさや環境改善の手法を多面的に理解することを通し、環境政策に関する問題を総合的に考える力を身につけ、最終的には地域の持続的発展に貢献する力を身につけることが到達目標である。</p>			
授業計画			
<p>4/13 第1講 ガイダンス・ゴミ問題から環境政策を考える(岡) 4/20 第2講 循環型社会とリサイクル(岡) 4/27 第3講 災害ゴミの処理(鬼頭) 5/11・18 第4・5講 四日市公害と中国の大気汚染対策①②(鬼頭) 5/25 第6講 四日市公害と夜景クルーズ(ゲスト講師=寺本) 6/1 第7講 三重の産廃問題とモンゴル・インドネシアの環境問題(ゲスト講師=武本) 6/8 第8講 ICETTの取り組み(ゲスト講師=ICETTより) 6/15・22 第9・10講 伊勢湾の水質問題と環境政策①②(千葉) 6/29 第11講 地球温暖化の仕組みと現状(鬼頭) 7/6 第12講 三重の地球温暖化対策(ゲスト講師=三重県) 7/13 第13講 映像で観る今日の環境政策の課題①(鬼頭) 7/20 第14講 映像で観る今日の環境政策の課題②(鬼頭) 7/27 第15講 まとめと講義の振り返り(鬼頭) </p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>小レポート5点×約10回として全体の50%、学期末試験50%の配分で、総合的に評価する。フィードバックとして、小レポートから課題の解説や学生の主な間違いを指摘し、要望のある学生には課題の点数を伝える。</p>			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
講義でプリントを配布する			
事前・事後学習			
<p>シラバスをもとにインターネットなどで事前に情報収集(毎回1時間程度)しておくことが望ましい。小レポートでは、講義を振り返るだけでなく、各自で事前に調べたこと、考えたことも踏まえ、書いてほしい。</p>			
担当者から一言			
<p>仕事の上でも、生活でも、とても大切な環境問題と政策を、多面的に学ぶのがこの講義の目的である。講義では、環境問題を冷静に幅広い視点で考える方法を身につけていく。</p>			

授業コード 911303 科目コード 262121

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： コンピュータプログラミング基礎	講師名： 片山清和		
配当年次： 3 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
メディアに関する専門知識・技術を習得して、独自の視点で情報発信できる能力を身に付ける。			
授業のねらい			
<p>ほぼすべてのアプリケーション・プログラムは、プログラミング言語で記述されています。プログラミング言語の中でも、C言語はオペレーティングシステムから携帯電話など末端の応用プログラムまで、広い範囲で使用されています。このC言語を学ぶことで、アプリケーション・プログラムの動作をより理解することができます。 この講義では、C言語を用いてプログラミングの基礎を学び、アプリケーション・プログラムの動作の理解を深めると同時に、プログラム作成と通じて、論理的思考を身につけることを目指しています。</p>			
到達目標			
C言語で基本的なプログラミングができるようになること。			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス、プログラミングとは 第2講 Cプログラムの入力・コンパイル・実行 第3講 変数・定数とデータ型と演算子 第4講 入力と出力 第5講 if による条件分岐 第6講 switch による分岐 第7講 for による繰り返し 第8講 while による繰り返し 第9講 関数（1） 第10講 関数（2） 第11講 配列 第12講 ポインタ 第13講 構造体 第14講 共用体 第15講 まとめ 定期試験</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
「提出物」（40%）、「定期試験」（60%） 提出物は100点満点で採点后、教育支援システム（Moodle）を介して返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
なし（必要に応じて配布します） 【参考文献】 B.W.カーニハン、D.M.リッチー 著 石田晴久 訳 「プログラミング言語C 第2版 ANSI規格準拠」 共立出版 ¥3,024			
事前・事後学習			
講義前には、これまでに学習した内容を復習すること（60分） 講義後には、演習問題を行うこと（120分）			
担当者から一言			
学習支援システム（Moodle）を利用します。 プログラミングでは積み重ねが重要ですので、欠席しないようにしてください。 「ソフトウェア論」「ハードウェア論」「コンピュータ動作論」を履修していることが望ましい。 また、出席状況が悪い場合には減点します。			

授業コード 914502 科目コード 262133

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： データ解析基礎	講師名： 田中伊知郎		
配当年次： 3 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
統計的データをまとめたり分析したりするために必要な、推測統計学の基礎的な知識を学びます。確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用（平均や比率の差の検定、独立性の検定）、サンプリングの理論、属性相関係数（クロス表の統計量）、相関係数、偏相関係数、変数のコントロール、回帰分析の基礎などを明らかにしていきます。社会調査士認定に関するD科目に相当します。			
到達目標			
量的データにおける相関係数の利用・質的データにおけるクロス集計の利用をパソコン実習で身に付けます。さらに、正規分布しているデータの平均値の検定などを使い、集団を分けるもの(要因)を見つける力を養います。			
授業計画			
第1講 ガイダンス：平均値・中央値と度数分布の確認 第2講 サンプリング：標本と母集団の関係とヒストグラムの作成 第3講 正規分布：確率論の基礎、ゆらぎ(分散)の概念の獲得 第4講 正規分布かの検定(Kolmogorov-Smirnov検定) 第5講 平均値の差の検定：二つの正規分布か、同じ分布か：実習 第6講 分散分析(3要因への検定の拡張)と効果量 第7講 分散分析の実習 第8講 一次関数と相関係数：Excel を使った求め方 第9講 相関係数の性質と回帰分析 第10講 データの性質の拡張・測定の尺度としての順位変数など 第11講 ノンパラメトリック検定(正規分布でない場合) 第12講 クロス集計(質的データにおける関連性)の説明と実践・ 第13講 クロス集計の実践：質的アンケートと円グラフ 第14講 クロス集計の検定(正確確率検定など) 第15講 クロス集計の検定：実習 定期試験 持ち込み不可 第2講から第15講までパソコンを用いた実習となります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
毎回の課題の達成度を採点し、点数として合計(60点満点)します。定期試験(40点)と合計して成績とします。点数を提示して、次回への課題も示します。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
なし。			
事前・事後学習			
授業当日の夕方、パソコン実習で保存したファイルまたはプリントアウトを見返してください(30分)。2・3日後に、プリントアウトを見直して(30分)、その次に当たることを考えてください(30分)。講義の前日に、パソコン実習で保存したファイルを見返して、ノートに書き込み整理してください(60分)。			
担当者から一言			
パソコン教室の実習形式で行います。パソコンを使うと、統計解析がスムーズに進むとわかってもらいます。			

授業コード 913702 科目コード 262135

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： データ解析応用		講師名： 吉見 勝治	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを修得していきます。</p>			
授業のねらい			
<p>複雑な現代社会を読み解く方法の一つに、数量データを用いた多変量解析があります。本講義では多変量解析の基本的な考え方や代表的な技法を理解し、それらを活用するための基礎力を身に付けることを目的とします。具体的な事例も交え、各種のデータ解析手法が身近なものであることを理解してもらいます。</p>			
到達目標			
<p>(1) 代表的な確率分布を理解すること (2) 統計的な推測を理解すること (3) 仮説検定を理解すること (4) 各種多変量解析（重回帰分析、分散分析、主成分分析等）を理解すること</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス ー多変量解析とはー 第2講 数学の復習 第3講 平均値、分散、共分散 第4講 正規分布 第5講 標準化 第6講 回帰分析 1ー回帰分析とは 第7講 回帰分析 2ー平面の当てはめ 第8講 回帰分析 3ー事例の演習 第9講 主成分分析 1ー主成分分析とは 第10講 主成分分析 2ー主成分分析の式 第11講 主成分分析 3ー事例の演習 第12講 因子分析 1ー因子分析とは 第13講 因子分析 2ー因子分析の式 第14講 因子分析 3ー事例の演習 第15講 まとめ</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>出席率と積極性（40%）、期末試験（60%）を元に総合的に評価します。宿題を出した場合にはその内容についても加味します。提出された宿題は以降の講義で返却します。</p>			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
<p>テキスト：配布資料、プレゼン資料 参考資料：久保川達也、国友直人「統計学」東京大学出版会（2016年）</p>			
事前・事後学習			
<p>インターネットや新聞で「統計データ」を日々確認して下さい（60分）。その統計データの母集団や検定について、講義で学んだ内容を元に考える癖をつけて下さい（60分）。</p>			
担当者から一言			
<p>どのような会社に就職しても、売上予測や市場動向など、様々なデータ解析が行われています。自分がその解析を行わなくてもその基礎を理解していることは社会人として大きな力になります。是非一緒に学びましょう。</p>			

授業コード 915603 科目コード 262136

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 国際関係論		講師名： 富田 与	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	分野必修
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する。			
授業のねらい			
最近の国際ニュースを見ると、企業やテロ組織など国家以外のアクター（主体）の行為が問題視されることが増えていきます。ところが、いったん国際的な問題が発生すると、国家か国連などの国家の集まりが解決するしかありません。この講義では、ナイの『国際紛争』をテキストに、国際関係の歴史と理論を考えていきます。このテキストからは、理論や歴史だけではなく、現実的な対応への手掛かりを見つかることができるでしょう。毎回の課題に関するディスカッションを中心に講義を進めます。			
到達目標			
到達目標は「最近の国際ニュースが説明できるようになる」です。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 第1章 国際政治における紛争には一貫した論理があるか 第3講 第2章 20世紀における大紛争の期限 第4講 第3章 バランス・オブ・パワーと第一次世界大戦 第5講 第3章 つづき 第6講 第4章 集団安全保障の挫折と第二次世界大戦 第7講 第4章 つづき 第8講 第5章 冷戦 第9講 第5章 つづき 第10講 第6章 介入、制度、地域・エスニック紛争 第11講 第7章 グローバリゼーションと相互依存 第12講 第8章 情報革命、脱国家主体とパワーの分散 第13講 第8章 つづき 第14講 第9章 新しい世界秩序 第15講 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
講義への参加度（発言等）：30% 講義期間中のレポート：30% 最終レポート：40% 講義期間中のレポートは毎回発表してもらいます。 最終レポートは希望者に返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
『国際紛争』 ジョセフ・ナイ著 有斐閣 2,600円			
事前・事後学習			
毎回、各章末につけられた「学習上の論点」からレポート課題を出します（180分）。			
担当者から一言			
出来るだけ時事問題を取り上げていきたいと思います。 関心のある出来事があったら、教員に伝えて下さい。			

授業コード 912203 科目コード 262143

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 国際協力論		講師名： 富田 与	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する。			
授業のねらい			
この講義では「ODA（政府開発援助）はなぜ必要なのか」という問いを考えていきます。近年、「途上国」と呼ばれていた国々が急速に経済成長を遂げ、「新興経済国」として世界経済のけん引役ともなりつつあります。そうした中で、ODAはなぜ必要なのでしょう。この講義では、ODA政策を開発経済と外交政策の両面から考えていくことにします。講義は毎回の課題に関するディスカッションを中心に進めていきます。			
到達目標			
到達目標は「なぜ、ODAが必要なのかを説明できる」です。			
授業計画			
第1講：ガイダンス 第2講：なぜ、ODAは必要なのか（1）：開発経済からの知見1 第3講：なぜ、ODAは必要なのか（2）：開発経済からの知見2 第4講：なぜ、ODAは必要なのか（3）：開発経済からの知見3 第5講：なぜ、ODAは必要なのか（4）：国際関係からの知見 第6講：なぜ、ODAは必要なのか（5）：日本の政治経済から 第7講：ODA予算の推移 第8講：ODAを巡る政策決定過程1 第9講：ODAを巡る政策決定過程2 第10講：ODAと日本外交史（1）：1950年代 第11講：ODAと日本外交史（2）：1960年代 第12講：ODAと日本外交史（3）：1970-80年代 第13講：ODAと日本外交史（4）：1990年代 第14講：ODAと日本外交史（5）：2000年代 第15講：人間の安全保障			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
講義への参加度（発言等）：30% 講義期間中のレポート：30% 最終レポート：40% 講義期間中のレポートは毎回発表してもらいます。 最終レポートは希望者に返却します。返却する最終レポートにはコメントを付けます。レポートの作成については希望に応じて個別に指導します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキストと参考文献は特に指定しません。			
事前・事後学習			
毎回の講義で課題を出すので、予習と復習を兼ねて取り組んでください（180分）。			
担当者から一言			
講義の中では、できるだけ関連した時事問題を取り上げながら進めることにしたいと思います。国際情勢に関心のある学生の受講を期待しています。			

授業コード 911804 科目コード 262144

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 地域経済論	講師名： 岡 良浩		
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	分野必修
授業の位置づけ			
地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる			
授業のねらい			
地域経済とは、日本では行政的区分である都道府県や経済的区分である首都圏・近畿圏などのことで、厳密に言えば『1つの国内を対象として、国民経済内部を地理的に分割した自立的な経済圏』のことを意味しています。 このような地域の経済諸問題を対象とするのが地域経済学という学問分野です。この講義では地域経済学を概説します。			
到達目標			
以下の3つを掲げています。 ①地域経済を理解する上で重要な基礎的概念を理解すること。 ②具体的な地域（中部圏）がどのような特徴をもった地域かということを理解すること ③実証分析をするために、データの所在と分析方法を理解すること。			
授業計画			
第1講 ガイダンス／地域の時代 第2講 地域とはなにか・都市とはなにか 第3講 経済学で地域をみる 第4講 地域経済の開放性 第5講 地域所得の決定 第6講 地域経済の成長 第7講 地域間格差 第8講 都市の成立と発展 第9講 都市圏の設定と都市化の過程 第10講 中心地理論と都市システム 第11講 中部経済のポイント 第12講 都市・地域の経済分析（その1）人口分析、コーホート分析 第13講 都市・地域の経済分析（その2）工業分析 第14講 都市・地域の経済分析（その3）商業分析 第15講 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業への参加態度（含む講義中の小テスト）20%、期末試験 80%。 提出されたものは添削して返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキストは特に使用せず、講義中に資料配付します。			
事前・事後学習			
（予習）資料をあらかじめ読んでおいてください。経済学の応用分野ですから、経済学を復習しておいてください。（90分） （復習）講義中に理解度を確認する小テストを課します。（90分）			
担当者から一言			
経済理論を積極的に応用し、地域経済を理解しようとする意欲のある学生の履修を期待します。			

授業コード 912204 科目コード 262145

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 地域開発論		講師名： 岡 良浩	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる			
授業のねらい			
この講義では、都市を中心に空間利用のあり方を考えます。そのねらいは大きくわけて以下の4つです。第1は、人類の長い歴史のなかで、都市がなぜ、どのように形成されていったのか（都市の原理）を理解することです。第2は、産業革命後の都市問題の発生と解決方法（近代都市計画）の形成過程を知ることです。第3は、現在の都市がどのような制度によって計画されているか（都市計画制度）を理解することです。第4は、これからの都市のあり方がどのように考えられているかということを理解することです。			
到達目標			
到達目標としては、講義のねらいの4つ（都市の原理・近代都市計画・都市計画制度・都市のあり方）を理解し、まちづくりを空間利用という観点から考える基礎を身につけることを目標とします。			
授業計画			
第1講 ガイダンス／地域開発と都市 第2講 都市の時代（世界人口・都市人口） 第3講 世界の都市形成史 第4講 動画でみる世界の都市形成史 第5講 日本の都市形成史 第6講 動画でみる日本の都市形成史 第7講 都市と人間（都市の原理） 第8講 近代都市計画の萌芽（1）都市問題と近代都市計画 第9講 近代都市計画の萌芽（2）田園都市論 第10講 近代都市計画の萌芽（3）近隣住区論 第11講 日本の都市計画制度（1）都市計画の内容／土地利用計画 第12講 日本の都市計画制度（2）都市計画事業 第13講 日本の都市計画制度（3）都市施設の整備 第14講 これからの都市～コンパクトシティを中心に～ 第15講 国土計画と都市計画／まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業への参加態度（含む講義中の小テスト）20% 期末試験 80% 理解度を確認する小テスト（作文）を講義中に課します。 提出されたものは添削して返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
特に使用せず必要に応じて講義中に資料配布します。			
事前・事後学習			
予習：資料を読んでおくこと（90分）。 復習：講義中に課される小テスト（作文）を行ってください（90分）。			
担当者から一言			
都市は、日常生活にかかわる身近な場です。自分のふるさとや魅力あるまちを頭に思い浮かべながら、皆さんが都市づくりに関心を持つことを期待します。 本科目は三重創生ファンタジスタ（ベーシック）資格の認定対象科目です。			

授業コード 911602 科目コード 262146

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 地域企業セミナー		講師名： 岡 良浩	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる			
授業のねらい			
<p>地域の将来を考えると、それぞれの地域の産業がどのように発展するかが重要です。産業構造が変化するなかで、地域の産業は様々ではありません。我が国では、地域の既存集積や資源を活用して、どのように産業を産み出していくかが重要になりつつあります。地域産業政策も、基盤整備型・産業誘致型の政策から、産業創造力を支える仕組みづくりが重要になりつつあります。 本講義では、地域産業に関する緒論や産業立地論を解説するとともに、日本の産業地形成・地域産業政策を解説します。</p>			
到達目標			
<p>到達目標は、以下の3つです。 1. 地域産業に関する緒論を理解する 2. 産地形成と四日市・北勢地域の地域企業や産業を知る 3. 地域産業政策を理解する</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス 第2講 地域産業の緒論(1) ペティークラークの法則/産業分類 第3講 地域産業の緒論(2) ホフマンの法則/ロストウの発展段階説 第4講 地域産業の緒論(3) 工業化の終焉/産業空洞化 第5講 産業立地論(1) 工業立地論の概観/輸送費問題 第6講 産業立地論(2) ウェーバー工業立地論 第7講 産業立地論(3) 商業立地論(ホテルリングモデル) 第8講 日本の産業地形成(1) 概観 第9講 日本の産業地形成(2) 工場立地論 第10講 日本の産業地形成(3) 近江商人 第11講 地域産業政策(1) 新産業構造ビジョン 第12講 地域産業政策(2) 大都市工業論/産業集積論 第13講 地域産業政策(3) 地域産業政策の変遷 第14講 地域産業政策(4) 三重県・四日市市の産業振興 第15講 まとめ ※この授業はオンデマンド方式で行います。</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>学期末試験(80%) 小レポート(20%) 提出されたものは添削して返却します。 </p>			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
<p>特に使用せず、講義中に資料配布します。</p>			
事前・事後学習			
<p>配付資料に事前に目を通しておいてください。(90分) 講義中に課される小レポートを行ってください。(90分)</p>			
担当者から一言			
<p>講義を通じて、自分の故郷や関心のある地域をイメージし、どのような産業発展を経験し、どのような課題・展望があるかを考えるきっかけにしてください。</p>			

授業コード 914302 科目コード 262147

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 社会保障論		講師名： 李 修二	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する。			
授業のねらい			
この講義では、現代日本における社会保障制度の基本的な枠組みを概観して学んでいきます。社会保障制度は、少子高齢化を前提とする今後の日本社会にとって、最も重要な社会経済制度と位置づけられるものの一つになっています。そして、たとえば経済体制のかなりの部分が、何らかの形で社会保障制度と関係するようにさえなっています。そこで、現行の日本の社会保障制度の基本的な仕組みや特徴を理解することが講義のねらいとなります。			
到達目標			
この講義で学ぶ様々な社会保障制度がなぜ必要とされているか、どのような経緯で成立させられてきたのか、そして、将来に向けてどのような課題があるのか。将来の日本の社会保障のあり方をめぐる意欲的な学説や見解に注目し、それらを学ぶことを通じて、社会保障論の要点を理解することが講義の到達目標となります。			
授業計画			
第1講 ガイダンス、「人生前半の社会保障」とは～その1 第2講 「人生前半の社会保障」とは～その2 第3講 ライフサイクル論 第4講 日本の社会保障の特徴 第5講 社会保障をめぐる新しい課題 第6講 教育と社会保障 第7講 若者基礎年金構想 第8講 年金論 第9講 福祉国家および再分配論 第10講 定常型社会論と社会保障 第11講 資本主義論と社会保障 第12講 環境論と社会保障 第13講 総合政策論と社会保障 第14講 医療政策論～その1 第15講 医療政策論～その2 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
毎授業ごとのミニツペーパーで50%評価し、講義ノートを試験範囲とする学期末の試験で50%評価します。(ミニツペーパー評価基準はガイダンス時に説明します。授業ごとの提出ミニツペーパーや質問等には、MOODLEを通じて、評価結果や応答をフィードバックします。)			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
テキスト 広井良典『持続可能な福祉社会』2006年、ちくま新書 テキストの内容に沿った書き込み式の講義ノートを毎回配布します。 参考文献 広井良典『人口減少社会のデザイン』2019年、東洋経済 椋野美智子ほか『はじめての社会保障』2020年、有斐閣			
事前・事後学習			
毎回の授業後、ミニツペーパー(小レポート)を書いてもらい、次の授業回に提出してもらいます。また、必ず授業前に講義ノートを復習して授業にのぞんでください。(ミニツペーパー作成、復習、計60分以上) さらに、毎週、参考文献、あるいは、新聞やウェブなどでの社会保障関係の記事など、授業内容に関連した資料から学習してください。(30分以上)			
担当者から一言			
社会保障制度の知識は今日きわめて重要かつ有用なものとなっています。ぜひ関心を持って、しっかり学習してください。細かな知識を覚える必要はありません。なぜ、そのような制度となっているのか、意味を理解するように学んでください。			

授業コード 914702 科目コード 262148

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 社会福祉学		講師名： 柴田啓文	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる。			
授業のねらい			
福祉は社会で排除された人々を社会に取り戻す活動です。特に、障害者や女性、子ども、高齢者、経済的困窮者などいわゆる「社会的弱者」の生活向上、社会参画の支援、権利を擁護することで、共に生きる社会を創造することを目標にしています。 この科目では、まず、福祉の理念を学び、その観点から地域にどのような問題があるのか、また、どのような対応が可能であるかについて、できるかぎり具体的なデータに基づいて検討します。			
到達目標			
福祉の理念を理解し、地域の現状を知り、あるべき地域福祉のあり方を自ら考える力を身につけます。また、そのために関係データを収集し、処理するスキルを養います。			
授業計画			
第1回 ガイダンス：授業の内容と評価(毎回の授業ノートは Excel) 第2回 教育支援システムの登録 第3回 少子高齢化社会と福祉 第4回 国家予算と福祉 第5回 福祉の理念：障害の社会モデル 第6回 福祉の理念：障害者の自立とノーマライゼーション 第7回 バリアフリーとユニバーサルデザイン 第8回 地域における特別のニーズとは何か? 第9回 地域における特別のニーズとは何か? 第10回 福祉職の現状 第11回 福祉とAIの1 第12回 福祉とAIの2 第13回 福祉とInternet of Things 第14回 多様な人々 第15回 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
平常点50%と学期末試験50%により評価します。平常点は、毎回のノート（主にExcel）の提出と小テストなどにより。小テストの得点は直後に、提出ノートの得点は一週間以内に教育支援システムのコースの「評定」に表示します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
使用しません。			
事前・事後学習			
福祉関連サイトを紹介しますので、毎日30分は各サイトを閲覧し、福祉についての最新の情報を収集してください。また、授業で取り上げた各テーマについてのデータを集めて分析してください。			
担当者から一言			
学習支援システム（MOODLE）を利用。Excel や Word の基本的な用法についても解説します。「地域福祉論」を通して、自分の暮らしや社会のあり方について考えようとするみなさんの受講を期待します。			

授業コード 914402 科目コード 262149

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 財務諸表論 1	講師名： 奥原 貴士		
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する。			
授業のねらい			
企業の決算書は、企業の業績の優劣や潜在能力を映し出しており、こうした会計情報に関する知識は、ビジネスの世界で活躍するためにも不可欠だといわれています。そして、会計情報を的確に読み取るためには、財務諸表がどのようなルールに基づいて作成されているのかを理解する必要があります。したがって本講義では財務会計の重要な論点を取り上げて解説を行い、財務会計の重要な論点を網羅的に理解することを目的とします。			
到達目標			
まず財務会計の役割、会計基準の必要性などの基礎知識を習得します。続いて、財務会計における主要な論点を理解することを到達目標とします。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 財務会計の機能と制度 第3講 利益計算の仕組み 第4講 利益計算の仕組み 第5講 会計理論と会計基準 第6講 会計理論と会計基準 第7講 利益測定と資産評価の基礎概念 第8講 利益測定と資産評価の基礎概念 第9講 現金預金と有価証券 第10講 売上高と売上債権 第11講 棚卸資産と売上原価 第12講 有形固定資産と減価償却 第13講 損益計算書と貸借対照表 第14講 損益計算書と貸借対照表 第15講 連結財務諸表 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
平常点（授業への積極的な参加、小テスト等）60% 小テストは15回の講義中に4回程度行います。 定期試験40% なお、小テストについては、各自に点数を伝えます。また、小テストの模範解答も以降の講義で示します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
講義資料は毎回プリントを配布します。 （参考文献） 桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。 桜井久勝 須田一幸『財務会計・入門』有斐閣。 桜井久勝『会计学入門』日本経済新聞出版社。			
事前・事後学習			
新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだ、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということに関心をもってください（毎日90分以上）。			
担当者から一言			
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。 日商簿記検定等の資格取得の相談にも対応します。 簿記・会計に関する講義で学習した内容を復習しておいてください。			

授業コード 912302 科目コード 262151

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 経営戦略論		講師名： 西浦 尚夫	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
本授業における学修と経験を通じて、グローバル化する現代社会の諸問題を理解し、理論と知識をもってその解決に向けて自ら考え、取り組むための学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
経営戦略論は、企業が競争に勝ち、長期的に成長し発展するための方策を目指しています。授業では、経営戦略の基本的フレームワークおよび戦略手法について解説します。企業経営の核心ともいえる経営戦略の意義を理解した上で、環境分析、事業戦略、競争戦略等に対する実践プロセスを習得し、企業活動の考察を通して経営戦略の基礎を学ぶことを目的としています。			
到達目標			
受講修了後、経営戦略策定に当たり、①企業におけるミッション、理念、ビジョンの重要性が理解できる。②経営資源の質と量の差にもとづいた競争上の地位に相応しい戦略が構想できる。③企業を支えるのは顧客であること。戦略を構築するために必要な視点を理解することを到達目標としています。			
授業計画			
第1講 ガイダンス・企業活動と経営戦略 第2講 経営戦略の概念 第3講 基本戦略の内容（経営戦略構成要素） 第4講 経営管理（PDCA サイクル） 第5講 競争優位の実現（SWOT 分析） 第6講 競争の戦略（1） 第7講 競争の戦略（2） 第8講 差別化戦略 第9講 顧客価値 第10講 成長戦略 第11講 戦略事例（1） 第12講 戦略事例（2） 第13講 戦略事例（3） 第14講 イノベーション戦略 第15講 経営戦略論まとめ 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
成績は次のような配分により評価します。 ・授業時に指示する課題の提出状況 45% ・定期試験 55% 毎回提出する課題レポートで、学習意欲、理解度、文章構成力を確認し評価します。 3回以上課題レポートを提出しない学生には、原則として単位を与えません。 なお、授業中もしくは授業後に寄せられた質問に対しては、適宜、授業内で回答していきます。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
市販のテキストは使用せず、適宜資料、パワーポイントを活用しながら、理解を深める授業を展開します。			
事前・事後学習			
日頃からテレビや新聞の経済ニュースに目とおし、自分が利用するサービスや購入した商品等がどのような経営戦略を用いているかを考えること（1日20分以上）。講義内容のテキストやノートを見返して、不明な点などは、参考文献等で調べておくこと（40分）。			
担当者から一言			
遅刻、授業中の中座、スマートフォンの操作等は原則禁止します。これらのことが守れない者には、退室を命ずることがあります。就職活動の参考になるよう、企業活動の考察を通して経営戦略を学ぶという実践的な授業義を目指しています。真剣な態度で受講してください。			

授業コード 914801 科目コード 262155

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 経営組織論		講師名： 岡 良浩	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
この講義はサービス業を念頭においた経営の基礎を学びます。 日本では、経済に占めるサービス業の割合が年々増加しており GDP の 3 / 4 を占めると言われています。サービス業は、製造業と違って、形のない扱いにくい性質を価値として販売するため、仕組み自体が製造業とは異なります。 本講義では、このようなサービスの経営学を総合的に学びます。また初年次の受講者が多いことから、社会人の考え方の基礎としての「7つの習慣」についても副読します。サービス業に関わらず社会人に求められる資質を理解し習慣づけることを目指します。			
到達目標			
以下の3つを目標とします。 1. サービス業の特徴や経営の特徴を理解すること。 2. サービス業を含めた社会人に求められる資質を理解し、習慣づけることを行うこと。			
授業計画			
第1回 ガイダンス/7つの習慣(1) インサイド・アウト 第2回 サービス業の産業構造と経営的特徴 第3回 7つの習慣(2) 主体的であること 第4回 サービス業の事例(1) リッツカールトン 第5回 7つの習慣(3) 主体的であること 第6回 サービスの事例(2) クロネコヤマト 第7回 7つの習慣(4) 最優先事項を優先する 第8回 サービスの事例(3) TESSEN(新幹線清掃チーム) 第9回 7つの習慣(5) 最優先事項を優先する 第10回 ものづくりの3S、サービスのQSC 第11回 7つの習慣(6) ます?理解に徹しそして理解される 第12回 サービス・マーケティング 第13回 7つの習慣(7) シナシ?を創り出す 第14回 IT・ロボットとサービス 第15回 まとめ/7つの習慣(8) 刃を研く?			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業への参加態度(含む講義中の小レポート)40% 期末試験 60% 講義中の小レポートは以下のように毎回課します。 1. 講義の回: キーワードとコメントの提出⇒フィードバックはしません。 2. 7つの習慣の回: 習慣の意味と自分の振り返り⇒コメントして返却します。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
副読書(7つの習慣)は、冊子としてお渡しします。 その他は特にテキストは使用しませんが、必要に応じて資料を配布します。			
事前・事後学習			
予習: 資料を読んで理解しておくこと(90分) 復習: 小テストの実施(90分)			
担当者から一言			
特にありません。			

授業コード 911403 科目コード 262156

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 日本ビジネス論	講師名： 永井 博		
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを修得していきます。			
授業のねらい			
サービス業の中心となる技術である接客技術を、現地研修を通して身に付けることが本講義のねらいである。ホテルや旅館などの宿泊施設、土産物店やレストランなどの物販・飲食店、その他の観光関連事業は接客が仕事の最前線である。客から言えば、接客に当たる店員の「おもてなし」の態度・印象、それを支える知識や技術がその店のすべてであると言っても過言ではない。その技術は座学だけではすべてを身に付けることはできない。実際にホテル・土産物店・レストランなどの現場の業務を体験しながらノウハウを身に付けてもらう。			
到達目標			
サービス業の中心である接客技術を身に付けることが目標である。			
授業計画			
受け入れ先企業において、夏季休暇中に15コマ相当の研修を行う。 前期授業期間中に事前説明会を行い、受け入れ企業を決定する。受講を希望する学生は、事前説明会に必ず出席すること。 受け入れ先企業が決まるまで、夏季休暇中の予定を空けておくこと。参考までに、2019年度の受け入れ先企業とそれぞれの実習期間は以下の通りである。 志摩スペイン村：9月3日（火）～9月7日（土） 伊勢かぐらばリゾート千の杜：8月19日（月）～8月23日（金） 鳥羽シーサイドホテル：8月23日（金）～8月27日（火） 伊勢安土桃山文化村：8月12日（月）～8月16日（金） 戸田家：8月12日（月）～8月16日（金） ねむリゾート：8月27日（火）～8月31日（土） わんわんパラダイス：9月5日（木）～9月9日（月）			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
研修の態度70%、課題レポート30%			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
大学からは特になし。受け入れ先企業から資料が配布される場合がある。			
事前・事後学習			
2年生前期の「ビジネスコミュニケーション」を履修していないと受講できません。（同時履修は可能） 予習：上記「ビジネスコミュニケーション」で学習した接客技術の基礎事項を復習しておくこと。（90分相当） 復習：研修内容を整理すること。（90分相当）			
担当者から一言			
学生の現地研修と言っても、客から見れば企業の一員である。社会人としての自覚をもって研修に臨むこと。また、事前の説明会に無断欠席、遅刻した場合、頭髪や服装に問題がある場合、あるいは留学生で日本語能力が著しく不足する場合は実習に参加させないことがある。			

授業コード 916101 科目コード 262158

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 中小企業経営論	講師名： 岡 良浩		
配当年次： 3 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる			
授業のねらい			
この講義は企業経営を人的側面からみることをねらいとしています。 企業経営には「正解」というものはありません。企業は、日々、自らの事業の改良や新しいビジネスを模索しています。 この講義では、毎回、経営者の対談やエピソードに関する映像を見ていただき、その経営者が何を重要と思いながら日々経営を考えているか、なぜそのような経営理念が生まれるのかを探ることを目標とします。			
到達目標			
以下の3つを目標とします。 1. 中小企業の役割や課題を理解する。 2. 企業の経営理念と事業内容の関係を理解する。 3. 全体を通じて中小企業もつ経営の特質を理解する。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 ユニバーサルスタジオジャパン 第3講 星野リゾート 第4講 コメダ珈琲 第5講 喫茶ルノワール 第6講 佐藤可士和 第7講 ハローキティ 第8講 the people's super market 第9講 葉っぱビジネスいろいろ 第10講 マザーハウス 第11講 矢場トン 第12講 井村屋 第13講 ワークマン 第14講 ものづくりツアーin 三重 第15講 まとめ ※とりあげる企業は、変更する可能性があります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
毎回の要約 (50%) 学期末のレポート試験 (50%) 提出された要約は添削して返却します。			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
特に使用しません。 四日市大学教育支援システム (moodle) を使用します。			
事前・事後学習			
予習：とりあげる企業の概要を調べておくこと (90分) 復習：毎回の要約の提出 (90分)			
担当者から一言			
皆さんも経営者になった気持ちで、受講してください。 毎回、映像の内容を要約するのは大変ですが、よい訓練になります。			

授業コード 915501 科目コード 262160

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： マーケティング論		講師名： 西浦 尚夫	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
顧客にとって魅力ある商品をつくり、売れる仕組みにつくりあげることが、ビジネスの起点では、重要なことです。本授業では、企業等で活躍するための学修（教養）を積み上げていきます。			
授業のねらい			
「マーケティング」は、企業経営における中核的な理念や活動の指針として着目され、果たす役割は、ますます大きくなっています。本授業では、実践されている企業活動の考察を通して、マーケティングの基礎を学ぶことを目的としています。			
到達目標			
受講修了後、「マーケティング」とは何かと尋ねられた時、定義と具体例によって、論理的かつ端的に自らの考えを話し、文章を作成できることを到達目標としています。			
授業計画			
第1講 ガイダンス・マーケティングの基礎概念 第2講 マーケティングの基礎課題 第3講 マーケティングの進め方：「B+S T P+M」の概念 第4講 顧客分析 第5講 マーケティング計画（1） 第6講 マーケティング計画（2） 第7講 経営資源 第8講 戦略・戦術的マーケティング 第9講 市場戦略と競争対応 第10講 マーケティングリサーチ 第11講 ブランド戦略（1） 第12講 ブランド戦略（2） 第13講 グローバルマーケティング 第14講 マーケティングの社会的な役割 第15講 マーケティング論まとめ 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
成績は次のような配分により評価します。 ・授業時に指示する課題の提出状況 45% ・定期試験 55% 毎回提出する課題レポートで、学習意欲、理解度、文章構成力を確認し評価します。 3回以上課題レポートを提出しない学生には、原則として単位を与えません。 なお、授業中もしくは授業後に寄せられた質問に対しては、適宜、授業内で回答していきます。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
市販のテキストは使用せず、適宜、資料、パワーポイントを活用しながら、理解を深める授業を展開します。			
事前・事後学習			
日頃からテレビや新聞の経済ニュースに目をとおり、自分の購入した商品等がどういう戦略を用いているかを考えること（1日20分以上）。講義内容のテキストやノートを見返して、不明な点などは、参考文献等で調べておくこと（40分）。			
担当者から一言			
遅刻、授業中の中座、スマートフォンの操作等は原則禁止します。これらのことが守れない者には、退室を命ずることがあります。就職活動の参考になるよう、企業活動の考察を通してマーケティングを学ぶという実践的な授業義を目指しています。真剣な態度で受講してください。			

授業コード 915401 科目コード 262164

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： マーケティングセミナー	講師名： 岡 良浩		
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
この科目では、マーケティングに必要なスキルを実践的に学びます。 マーケティングとは、「顧客のニーズに合ったものを、最適な形で提供される市場を作り出すための活動」のことを言います。その内容は様々ありますが、「顧客にニーズは何か」が起点となります。その意味で、マーケティング=市場調査と思っても良いでしょう。 ここではMicrosoft Formを用いて、アンケート調査と集計を体験します。単純集計・クロス集計や報告書作成を演習します。 この体験を踏まえて、実際の企業を想定した市場調査を考えていただきます。			
到達目標			
到達目標は以下の3点です。 ① 市場調査の一連の技法を身につけること （調査票設計→配布→回収→集計・分析→提案） ② 市場調査の分析結果を発表する能力を身につけること ③ 実際の企業を想定した市場調査を企画できる能力をつけること			
授業計画			
第1回 ガイダンス 第2回 マーケティングと市場調査の基礎理解 第3回 Microsoft Form の使い方 第4回 Microsoft Formによるアンケートの設計と回答 第5回 エクセルを使った単純集計 第6回 エクセルを使ったクロス集計 第7回 報告書の作成 第8回 仮設を設定した市場調査の設計 第9回 市場調査の実施 第10回 市場調査の集計 第11回 報告書の作成 第12回 報告書の確認 第13回 報告書の発表 第14回 市場調査の実際 第15回 まとめ			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
定期試験（レポート試験） 50% 参加態度 50% 全期間を通じて、その都度、理解度を確認しながらすすめます。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
定期試験（レポート試験） 50% 参加態度 50% 全期間を通じて、その都度、理解度を確認しながらすすめます。			
事前・事後学習			
予習：配付資料をあらかじめ読んでおくこと。(90分) 復習：学んだ技法を復習し、身につけておくこと。(90分)			
担当者から一言			
Moodleを利用し、原則、コンピュータ室で演習を行います。			

授業コード 911803 科目コード 262165

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： エマージングマーケット論	講師名： 鶴田利恵		
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する。			
授業のねらい			
この講義では、日本を含むアジア諸国の経済発展がどのような変遷を辿ってきたのかを、経済理論と実際の流れによって説明します。特に、国内の工業化政策、諸外国との貿易と直接投資、外国からの政府開発援助（ODA）、そして、グローバル化が進む国際経済における自由貿易（FTA）や地域連携協定（EPA）が、経済成長を進める上でどのような役割を担っているのかに焦点を置いて講義していきます。授業では鶴田の解説だけでなく、活発なディスカッションを行いながら進めます。			
到達目標			
経済成長に関する基本的な理論とアジア諸国の実情を理解する。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 GDPの決定(1) 第3講 GDPの決定(2) 第4講 財政政策 第5講 金融政策 第6講 為替・国際収支 第7講 マルサスの罠 第8講 ペティ＝クラークの法則 第9講 2部門モデル 第10講 工業化の初期条件と輸入代替工業化 第11講 輸出志向型工業化と対外直接投資 第12講 日本の政府開発援助 第13講 多様化する外国資本投資とアジア通貨危機 第14講 アジア経済の新動態 第15講 まとめ 定期試験 *対面での講義を予定していますが、受講者数によってはオンデマンドになる場合もあります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業態度(20%)、定期試験(80%)により評価します。 フィードバック方法：授業中もしくは授業後に寄せられた質問に対しては、適宜、授業内で回答していきます。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
プリントを配布します。			
事前・事後学習			
日頃からテレビ、新聞、インターネットなどなんでも良いので経済ニュースに触れておくこと(毎日1時間以上。まとめてでも小刻みでも構いません。電車の中でネットでニュースを見るのもOKです)。講義後は、その日のテキストを必ず読み返す(30分以上)。			
担当者から一言			
質問や意見はおおきに歓迎です。ただし、私語、携帯電話の使用は禁止します。特に、注意をしても私語や携帯電話の使用をやめない場合には、退出(もちろん欠席扱い)を命じるか、もしくは携帯電話を没収します。			

授業コード 911404 科目コード 262166

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 経営分析論		講師名： 岩崎祐子	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
本講義の前半（第2講～第7講）は、サービス業や観光業などのビジネス環境を学びます。ビジネスの競争環境などを理解します。そして、実際の企業活動におけるマネジメントをビジネスゲームを通して体験し、研究発表を行います。次に、ビジネスをマネジメントするには企業の会計情報を利用する知識が必要になります。そこで本講義の後半（第9講～第15講）では、サービス業や観光業を営む企業の売上高・純利益などの会計情報を用いて、企業の収益性・安全性・生産性・不確実性などの経営分析を行う方法について学習します			
到達目標			
・ビジネスの競争環境を理解する。 ・ビジネスマネジメントの実際を把握する。 ・経営分析の方法を理解する。 ・企業の会計情報を使用して経営分析を行うことができる。			
授業計画			
第1講 ガイダンス 第2講 グループ分け、グループワークの説明 第3講 ビジネスマネジメントの実際 第4講 ビジネスマネジメントの実際 第5講 ビジネスマネジメントの実際 第6講 ビジネスマネジメントの実際 第7講 プレゼンテーション 第8講 中間試験 第9講 経営分析の視点と方法 第10講 収益性の分析 第11講 収益性の分析 第12講 安全性の分析 第13講 安全性の分析 第14講 生産性の分析 第15講 不確実性の分析 定期試験 第2講～第6講 グループワーク、第7講 プレゼンテーション			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
平常点（授業への積極的な参加、小レポートなど）30% 中間試験40% レポート（第9講～第15講の間に行う） 定期試験30%			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
講義資料は毎回プリントを配布する。 (参考文献) 桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。			
事前・事後学習			
事前：新聞や雑誌などを読んで、企業経営について学ぶ（90分） 事後：授業の復習と関連情報の収集（90分） 普段から新聞や雑誌などを読んで、この企業の経営はうまくいってそうか、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、というように企業の経営状態に関心をもつようにしてください。			
担当者から一言			
本講義で学習する経営分析の知識は社会に出てから自社やライバル企業の経営状態を分析する際に不可欠です。すなわち、ビジネスの世界で活躍するために必要な知識です。			

授業コード 911302 科目コード 262167

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： ビジネスコミュニケーション	講師名： 岡 良浩		
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
本講義は、ビジネスマナーの初歩を学びます。 ビジネスマナーは一つのスキルではありますが、その本質は人間関係です。そこでまずは、日常の良好な人間関係をどのようにつくっていくのかを学びます。 そのうえで、まずは一般的なマナーを学びます。表現には、言葉（言語）以外に、身ぶり・手ぶりといった非言語コミュニケーションも含まれます。 この応用としてビジネスマナーがあります。職場内やお客様との間での、さまざまなシーンを想定して、そのマナーの基礎を学びます。			
到達目標			
本講義の到達目標は以下の3点です。 1. 人間関係づくりを学ぶこと 2. 一般的なマナー（言語・非言語）を修得すること 3. シーンごとのビジネスマナーの基礎を修得すること			
授業計画			
1 講 9/27 ガイダンス（岡） 人間関係づくり①チームワークと価値交流（長野） 2 講 10/4 同 ②コミュニケーションとは（石田） 3 講 10/11 同③パフォーマンス学（石田） 4 講 10/18 同④-1 話し方・聞き方・ 考え方（木村） 5 講 10/25 同④-2 話し方・聞き方・考え方（木村） 6 講 11/1 一般的なマナー①-1 敬語（木村） 7 講 11/8 同②-1 敬語（木村） 8 講 11/15 同②-1 表情・声・身体表現（則武） 9 講 11/22 同②-2 表情・声・身 体表現（則武） 10 講 11/29 ビジネスマナー①職場のルール（報連相）（則武） 11 講 12/6 同②受付・案内・席次・ 訪問時のマナー（則武） 12 講 12/13 同③一般文書とビジネス文書（田上） 13 講 12/20 同④プレゼンテーション （田上） 14 講 1/17 同⑤クレーム対応（川村） 15 講 1/24 総合まとめ（長野）			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業での参加態度および課題の提出状況 50%、定期試験 50% 課題は講義の振り返りとして課します。課題は採点して返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキストとしては以下を使用するので購入しておくこと。 有限会社幸プランニング『コミュニケーション&ビジネスマナー』SEP 自己表現能力出版部 1, 980 円（税込）			
事前・事後学習			
予習：テキストで指定する範囲を読んでおくこと。（90分） 復習：授業中に配布する理解度テストを行うとともに復習すること。（90分） 留学生はN1向けの問題集や参考書などで語彙や文法を身に付けておくことが望まれます。			
担当者から一言			
ビジネスマナーは社会で生きていくための必須の資質です。学生時代に、先んじてビジネスマナーを学びたいと思う学生は是非受講して下さい。			

授業コード 915602 科目コード 262172

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： グローバルコミュニケーション	講師名： 富田 与		
配当年次： 2 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
<p>「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。</p>			
授業のねらい			
<p>この講義では、多文化共存の状況とそこでの関係者の行動を見ながら、文化や行動の多様化と制約、そして、そうしたものに対応するにはどうしたらいいのかについて考えます。おもに、参加者とのディスカッションを中心に、「仕事の文化」という視点から、二つの文化が会える場面でのホスト＝ゲスト関係を実践的な挑戦としてとらえていくことにしたいと思います。</p>			
到達目標			
<p>多文化共存の状況を理解し、日常生活や仕事の中でそれに対応できる能力を身につける。</p>			
授業計画			
<p>第1講 ガイダンス 第2講 第1章 なぜアジアに移住するのか。その1 第3講 第1章 なぜアジアに移住するのか。その2 第4講 第1章 なぜアジアに移住するのか。その3 第5講 第2章 和食職人の伝統。その1 第6講 第2章 和食職人の伝統。その2 第7講 第3章 「おもてなし」という感情労働。その1 第8講 第3章 「おもてなし」という感情労働。その2 第9講 第4章 日本化したアメリカ文化。その1 第10講 第4章 日本化したアメリカ文化。その2 第11講 第5章 「国語」教育から「日本語」教育へ。その1 第12講 第5章 「国語」教育から「日本語」教育へ。その2 第13講 第6章 再発見された仕事の価値。その1 第14講 第6章 再発見された仕事の価値。その2 第15講 まとめ：グローバル化の中での仕事とコミュニケーション</p>			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
<p>学期末に、参加度（発言、発表等）40%、レポート60%の割合で総合評価を出します。 レポートは希望者に返却します。 講義中の課題は、毎時間発表してもらいます。</p>			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
<p>『世界に広がる日本の職人』 青山玲次郎著 ちくま新書 820円</p>			
事前・事後学習			
<p>予習：指示された教材を読み、必要なデータに目を通しておいください（90分）。 毎回、簡単な発表をしてもらいます。 復習：教材を読み直し、レポート等の課題を作成してもらいます（90分）。</p>			
担当者から一言			
<p>多文化が共存する社会では、その文化を理解していなくても、異なった文化背景を持つ人々とコミュニケーションを取っていかねばならなくなります。そんな時、どうしたらいいのか。一緒に考えてみましょう。</p>			

授業コード 911501 科目コード 262173

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 流通経済論		講師名： 杉谷克芳	
配当年次： 2 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する。			
授業のねらい			
本講義では、現実の流通業の動向にホットな関心を抱きつつ、「流通の社会的役割」「農産物流通」「投機的流通から延期的流通へ」等の流通経済の理論的な話をしていきます。流通業は、もっとも身近な産業だと言えます。私たちは毎日どこかで買物をしており、流通業の変化は私たちの消費生活に直接的に影響を与えます。また、卒業後のあなた方の就職先として流通業が近年ますます大きな比重を占めてもいます。流通業の動きに興味をもったり、何気なく買物をしていた店舗を見る眼が変わったりのきっかけになればと思っています。			
到達目標			
流通論の基本的用語や理論を理解した上で、現実の流通業の動きに関心を持ち、自分なりに分析する力を培うこと			
授業計画			
第1講 ガイダンス、講義の概要 第2講 必要としての買物と娯楽としての買物 第3講 小売業の定義、小売業と卸売業、小売業とサービス業 第4講 社会的分業と流通、生産と消費の間の懸隔の架橋 第5講 流通の4要素と流通フロー、流通の担い手とは 第6講 商業者の存立基盤、取引数最小化の原理 第7講 農産物流通—卸売市場流通と卸売市場外流通、食料品ニーズの変化、 第8講 農産物流通—卸売市場の誕生とその目的 第9講 農産物流通—卸売市場の仕組み 第10講 農産物流通—青果物流通の現在、畜産・米・お茶の流通 第11講 在庫の役割、危険プールの原理 第12講 投機的流通の延期化、ファーストファッション 第13講 延期と投機、回転寿司 第14講 SPA と延期化、ユニクロ 第15講 セブンイレブン・ジャパン、コンビニを支えるもの			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
基本的には定期試験の結果によって評価します(80%)。また、授業への積極的な参加度、小テスト、レポート(任意提出)等による加点を行います(20%程度)。定期試験だけで秀をとる人はきわめて稀です。受講態度や小テスト等による加点をねらいましょう。授業中・授業後の質問には、適宜、授業内で回答していきます。			
テキスト・教材(参考文献を含む)			
特になし。講義中に適宜プリントを配布します。			
事前・事後学習			
新聞、雑誌などの流通業に関する記事に目を通すこと、テレビやインターネットでも構いません(毎日30分以上)。講義後は、その日のノートを見返して、不明な点を参考文献等で調べておくこと(60分以上)。			
担当者から一言			
あまり難しい話にならず、学生さんの興味を引く授業にしたいと思いますが、そのためには学生さんの協力が必要です。私語は苦手ですので、よろしく。また、講義中のスマホ使用も禁止します。			

授業コード 912101 科目コード 262175

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： ビジネス英語		講師名： デイビッド ダイクス	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	後学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、習得していきます。			
授業のねらい			
In this class, we will practice the English used in office work, at meetings, on business trips, for presentation talks, etc. Most lessons will feature workplace problems and ways of dealing with them, for example, how to keep a plan on schedule, or prepare for a presentation.			
到達目標			
The main target is to polish up skills needed for cooperating in office duties, discussing projects, making plans, and sharing information. Language for teamwork, goal sharing, and positive human relations will be stressed throughout.			
授業計画			
1. Guidance. Then small talk. Example topic: "This is my first visit." 2. Questions: "How do you like Bangkok?" 3. Scheduling: "It's going well so far." 4. Reporting: "Have they decided on the design yet?" 5. Help: "Could you take a look at them?" 6. A problem: "My flight was canceled." 7. Explaining a task: "What do you want me to do?" 8. Poor human relations: "She knows marketing very well, but ..." 9. Recruiting: "Thank you for coming to our interview." 10. Marketing meeting: "The competition will be very strong." 11. Before a presentation: "This is where we hold meetings." 12. Presentation: "I'd like to talk about our latest model." 13. Good human relations: "You are much better than me." 14. Aiming for promotion: "If I were you, I wouldn't miss it." 15. Announcing: "I'd like to propose a toast." Then review. Week 16: End-of-term exam			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
50% for Short Tests and class Assignments 50% for End-of-term exam			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
角山照彦、Simon Capper 著：“Let's Read Aloud More” 成美堂、2016年、定価：2200円（税別）			
事前・事後学習			
BEFORE (90 min.) [1] Check "Vocabulary Preview" & "Grammar Point" (30) [2] Fill in "Grammar" page (30) [3] Follow business English media topics (30) AFTER (90 min.) [1] Check you understood [2] Complete filling in [3] Memorize dialogue scene.			
担当者から一言			
[1] 科目の履修を決めしだい、テキストを早めに買うこと [2] この科目用のホルダー（また、ノート）を用意すること [3] ふつうは、欠席・遅刻しない [4] 有意義な授業になるように、おたがいに真面目に、活発な参加を目指す			

授業コード 913703 科目コード 262181

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 経済経営外国語講読		講師名： 武藤 和成	
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを修得していきます。			
授業のねらい			
ねらいは下記の5点です。 1 英文法の重要事項に関しては、例文を活用し理解できるようにします。 2 問題を解きながら文法事項を確認していきます。 3 英文を読む上で必要な語彙の理解力を高めていきます。 4 語彙力を活用できるように、文章を読みながら空所補充で活用力を鍛えていきます。 5 可能な範囲で英語脳・耳を作れるように配慮します。			
到達目標			
次の5点を目標とします。 1 総合的な英語力を高める（最初の段階としては英検準2級に準ずる水準をめざす） 2 英語に慣れる（英語脳を鍛える予備段階） 3 TOEICに慣れ、大枠で理解できる部分を増やしていく（英語脳を鍛える） 4 TOEIC やその他の資格試験を意識して、自立した学修スタイルを確立する 5 英語脳を自立した学修スタイルによってより鍛え、英検準2級、2級の水準にまず到達する			
授業計画			
TOEIC 専用のテキストを用い英語力を高めます 第1講 ガイダンス その後、語彙力養成 第2講 語彙力育成と文法・読解力育成 第3講 同上 第4講 同上 第5講 テキスト (Building TOEIC L & R Test Skills) Unit 1 2 第6講 同上 Unit 3 4 第7講 同上 Unit 5 6 第8講 Unit 7 8 第9講 これまでの振り返りまとめ 第10講 同上 第11講 Unit 9 10 第12講 Unit 11 12 第13講 Unit 13 14 第14講 Unit 13 14 第15講 Unit 15 定期試験			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
平常点 30点 (授業に出席し、授業に集中し、ノート作成に努めている姿勢であること) テスト 70点 (40点は前期試験 30点はその他のテスト)			
テキスト・教材 (参考文献を含む)			
Building TOEIC L & R Test Skills (南雲堂 2, 200円) その他 英和辞書・和英辞書 (電子辞書 可) 英文法に関する各社の参考書は自分で用意すること。			
事前・事後学習			
事前事後学習について 毎日1時間ほど学修しましょう。 1 テキストを音読し、英文を専用のノートに書写し、正しく日本語に翻訳し意味を理解 すること。 2 英文中の単語、熟語をまとめ、意味を調べ、単語熟語帳を作成すること。 3 その他 英文ノート、単語帳ともに毎講座持参し、指示通りに提出できるようにしておくこと。(単位認定・成績評価の点となる) 英文ノートと単語熟語帳が1冊になって いてもよい。			
担当者から一言			
ベストの姿勢で受講しましょう。ベストの姿勢とは、どのような姿であるのかを毎回、自問し、 出席しましょう。			

授業コード 911405 科目コード 262182

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 英語スキルズ		講師名： デイビッド ダイクス	
配当年次： 4 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、習得していきます。			
授業のねらい			
ホテルや旅行代理店など、様々な観光業界に就職したプロの意見を交ぜながら、「おもてなし」の現場ならではの英語を身に付けるための授業です。The aim is to master the kind of English used in the "hospitality scene" of the tourism and travel-related working world.			
到達目標			
訪日観光客を相手に、交通、宿泊施設、観光地などについての案内や、日本食、伝統文化体験、お土産などの説明に必要なスキルをみがくことが大きな目標です。 The main target in this course is to polish up skills needed to offer guidance in areas like transportation, accommodation and sightseeing, as well as information about Japanese culture.			
授業計画			
1. Guidance. Example topic: "Transportation" 2. "At a hotel check-in counter" 3. "Hotel facilities and services" 4. "Giving directions" 5. "Recommending a trip" 6. "Dining in Japan" (1) 7. "Dining in Japan" (2) 8. "Arranging a tour" 9. "Staying at a ryokan inn" 10. "Cultural experience in Japan" (1) 11. "Cultural experience in Japan" (2) 12. "Japanese souvenirs" 13. "Health problems and emergencies" 14. "Complaints and accidents" 15. "Departure" and Final review Week 16: End-of-term exam			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
50% for Short Tests or class assignments 50% for End-of-term exam Feedback: I'm happy to respond to questions or comments For online feedback, I will provide an email address in class			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
上杉恵美、阿部佳、渭東史江、松島康彦、神末武彦、Jacob Schere 著、 "Hospitality on the Scene" 金星堂、2018年、定価： 2200 円（税別）			
事前・事後学習			
BEFORE (90 min.) [1] Fill in "Vocabulary Check" & "Pre-Activity" (30) [2] Pre-read "Reading for Information" (30) [3] Follow travel-related media topics (30) AFTER (90 minutes) [1] Check you understood [2] Memorize dialogue scene.			
担当者から一言			
[1] 科目の履修を決めしだい、テキストを早めに買うこと [2] この科目用のホルダー（また、ノート）を用意すること [3] ふつうは、欠席・遅刻しない [4] 有意義な授業になるように、おたがいに真面目に、活発な参加を目指す			

授業コード 913302 科目コード 262183

2021年度 四日市大学経済学部シラバス

科目名： 経済経営特殊講義 a	講師名： 岩崎祐子		
配当年次： 3 年次	単位数： 2	前学期	選 択
授業の位置づけ			
「スキル科目」では、いずれかのユニットを選ぶことによって、希望する進路に応じた、卒業までにあらかじめ身に付けておきたい即戦力となるスキルを、修得していきます。			
授業のねらい			
本講義は、おもてなしを担う企業の成功事例を、総合的に理解することを目的とする。おもてなし経営が成功しているのは、個々の技術要素というより、総合力が勝っているからだと思われる。このような総合力を見ることがこの講義のねらいである。 企業においては、経営理念や事業目標がどのように企業内に反映されているか、そのポイントはどこにあるかなど、三重県内の経営者層を招聘して伺う。			
到達目標			
・おもてなし経営の成功事例を理解する。 ・成功事例から、成功の要因や他事業への応用（普遍化）を考察する。			
授業計画			
第1回 ガイダンス 第2回 外部講師による講義 第3回 授業中レポート 第4回 外部講師による講義 第5回 授業中レポート 第6回 外部講師による講義 第7回 授業中レポート 第8回 外部講師による講義 第9回 授業中レポート 第10回 外部講師による講義 第11回 授業中レポート 第12回 記事担当の学生の振り分け・記事の執筆 第13回 記事の執筆 第14回 記事の仮提出と指導 第15回 記事の発表 定期試験 第12回～第14回 グループワーク、第15回 プレゼンテーション ※日程は変更する可能性があります。 ※外部講師の講演企業・日程などの詳細は、第1回ガイダンス時に配布します。 ※履修登録者多数の場合、履修制限をする可能性があります。			
成績評価方法・課題・フィードバック方法			
授業中に作成するレポート（40%）、グループワーク・発表（30%）、定期試験（30%）により評価します。 授業時に提出した課題については、コメントをつけて返却します。			
テキスト・教材（参考文献を含む）			
テキストは使用せず、毎回、資料を配付します。 参照資料として三重県「三重のおもてなし経営企業選」のホームページを参照してください。			
事前・事後学習			
日頃から、「おもてなし」をキーワードに企業経営、サービス、観光に関するニュースに目を通すようにして下さい（30分、週3日以上）。 授業内容を復習して、さらに他の事例研究もおこなってください（90分）。			
担当者から一言			
第12講以降PC教室を使用するため、履修登録者多数の場合、履修制限をする可能性があります。 「外部講師による講義」の際にも積極的に質問してください。多くの企業や経営者との出会いは、これから社会に出る学生にとっていい経験になりますし、就職活動にも役立ちます。			

授業コード 913404 科目コード 262201